

平成30年度

第3回 県政モニターアンケート調査結果報告書



長野県

## 目 次

I	調査の概要	-----	1
II	結果の内容	-----	5
	○県歌「信濃の国」について		
	問1 県歌「信濃の国」の認知度等		6
	問2 「信濃の国」の効果的な発信方法		7
	○長野県原産地呼称管理制度について		
	問3 長野県原産地呼称管理制度の認知度		8
	問4 認定マークの認知度		9
	問5 認定品目の認知度		10
	○信州ブランド戦略について		
	問6 「信州ブランド戦略」の認知度		11
	問7 信州ブランド戦略キャッチフレーズ「しあわせ信州」の認知度		12
	問8 信州ブランド戦略ロゴマーク「信州ハート」の認知度		13
	問9 「信州ハート」に込められた意味の認知度		14
	○長野県森林づくり県民税（森林税）について		
	問10 森林税の認知度		15
	問11 森林税を活用した取組の優先度		18
	問12 森林税を身近に感じてもらうために有効な取組		19
	○文化芸術活動に関する実感について		
	問13 文化芸術活動に参加した人の割合		20
	問14 住んでいる地域の文化的環境の満足度		22
	問15 地域の文化的環境の充実に必要な事項		23
	○健康づくりに関する実感について		
	問16 自分の健康状態		24
	問17 健康の維持・増進に関する取組		25
	問18 健康づくりを進める上で必要な環境づくり		27
	○運動・スポーツに関する実感について		
	問19 この1年間に行った運動・スポーツの種類		28
	問20 この1年間に運動・スポーツを行った日数		29
	問21 この1年間に運動・スポーツを行った理由		30
	問22 この1年間に行った運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由		31
	問23 運動・スポーツをする以外の関わり方		32
III	調査票	-----	33

# I 調査の概要

## 1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政モニターアンケート調査」を実施しました。今回の調査においては下記の7項目について23問を設定しました。

- (1) 県歌「信濃の国」について  
県歌普及に向けた取組の参考とするため、県歌の認知度等を調査
- (2) 長野県原産地呼称管理制度について  
県産食材の消費拡大に向けた取組の参考とするため、品目の認知度等を調査
- (3) 信州ブランド戦略について  
信州のブランド力向上に向けた取組の参考とするため、戦略の認知度等を調査
- (4) 長野県森林づくり県民税（森林税）について  
森林税運用の参考にするため、森林税に関する意識等を調査
- (5) 文化芸術活動に関する実感について  
文化芸術振興施策の参考とするため、文化芸術活動の取組状況等を調査
- (6) 健康づくりに関する実感について  
健康増進施策の参考とするため、健康づくりの取組状況等を調査
- (7) 運動・スポーツに関する実感について  
スポーツ振興施策の参考とするため、運動やスポーツの実施状況等を調査

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域：長野県全域
- (2) 調査対象：県政モニター 1, 257人  
(現在の県政モニターは平成30年8月から登録)
- (3) 調査方法：郵送又はインターネット
- (4) 調査機関：平成31年2月22日（金）から平成31年3月6日（水）

## 3 回収結果

回収数（率） 1, 018 人（81.0%）

### 【回答方法別】

（上段 回答者数：中段 対象者数：下段 割合）

	全体回答率	（回答方法内訳）	
		郵送	インターネット
総数	1,018	849	169
	1,257	1,005	252
	81.0%	84.5%	67.1%
公募	80	6	74
	102	7	95
	78.4%	85.7%	77.9%
無作為	938	843	95
	1,155	998	157
	81.2%	84.5%	60.5%

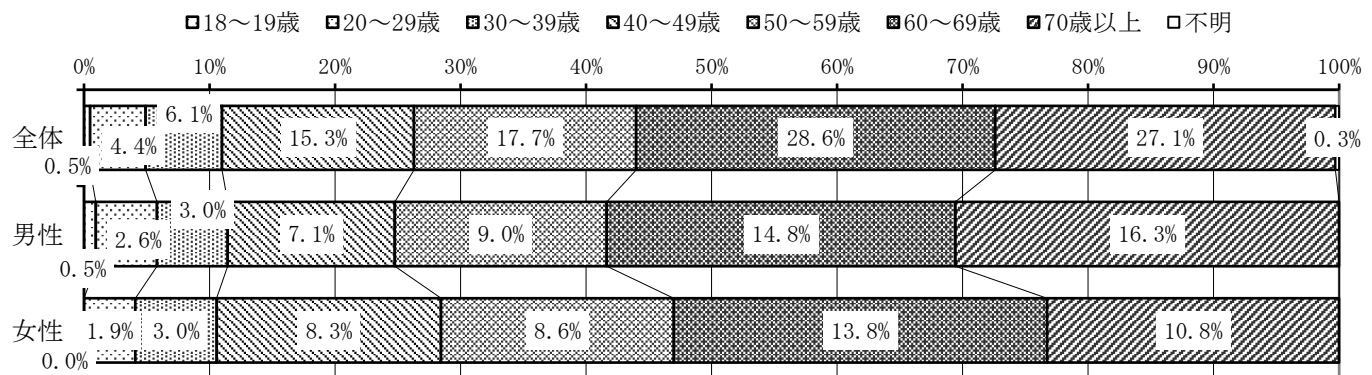
#### 4 回答状況

##### 【男女別・年代別】

(上段 回答者数：下段 割合)

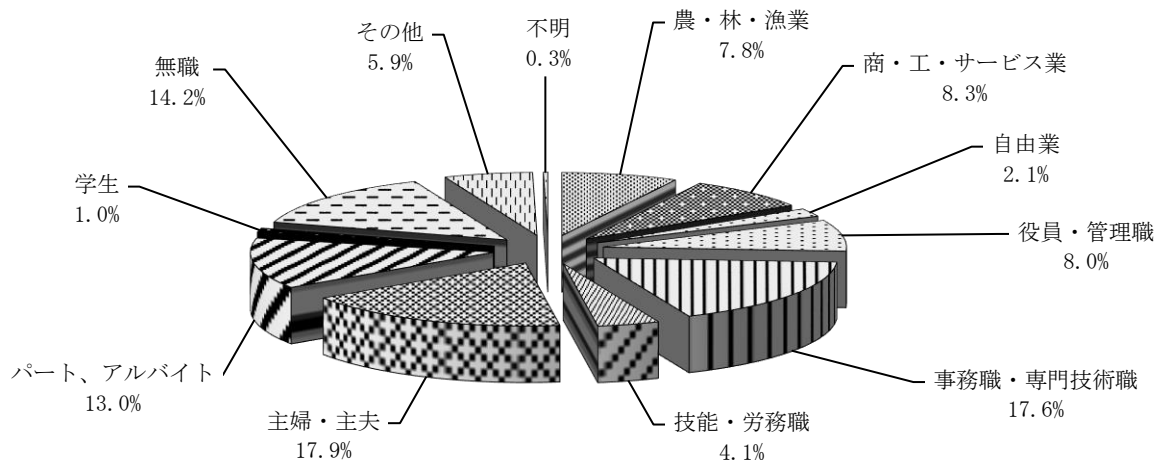
	総数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	1,018	5	45	62	156	180	291	276	3
	100.0%	0.5%	4.4%	6.1%	15.3%	17.7%	28.6%	27.1%	0.3%
男性	543	5	26	31	72	92	151	166	0
	53.3%	0.5%	2.6%	3.0%	7.1%	9.0%	14.8%	16.3%	-
女性	472	0	19	31	84	88	140	110	0
	46.4%	-	1.9%	3.0%	8.3%	8.6%	13.8%	10.8%	-
不明	3	-	-	-	-	-	-	-	3
	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.3%

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=1,018)に対する割合



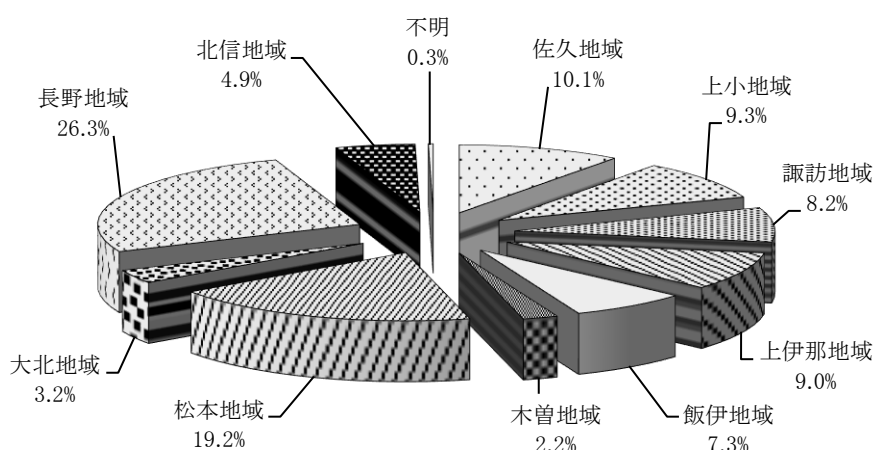
##### 【職業別】

	県政モニター登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	95	7.6%	79	7.8%	83.2%
商・工・サービス業	111	8.8%	84	8.3%	75.7%
自由業	25	2.0%	21	2.1%	84.0%
役員・管理職	113	9.0%	81	8.0%	71.7%
事務職・専門技術職	239	19.0%	179	17.6%	74.9%
技能・労務職	61	4.9%	42	4.1%	68.9%
主婦・主夫	201	16.0%	182	17.9%	90.5%
パート、アルバイト	156	12.4%	132	13.0%	84.6%
学生	13	1.0%	10	1.0%	76.9%
無職	162	12.9%	145	14.2%	89.5%
その他	81	6.4%	60	5.9%	74.1%
不明	-	-	3	0.3%	-
合計	1,257	100.0%	1,018	100.0%	81.0%



【地域別】

	県政モニター登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	132	10.5%	103	10.1%	78.0%
上小地域	116	9.2%	95	9.3%	81.9%
諏訪地域	106	8.4%	83	8.2%	78.3%
上伊那地域	112	8.9%	92	9.0%	82.1%
飯伊地域	94	7.5%	74	7.3%	78.7%
木曽地域	25	2.0%	22	2.2%	88.0%
松本地域	252	20.0%	195	19.2%	77.4%
大北地域	43	3.4%	33	3.2%	76.7%
長野地域	317	25.2%	268	26.3%	84.5%
北信地域	60	4.8%	50	4.9%	83.3%
不明	-	-	3	0.3%	-
合計	1,257	100.0%	1,018	100.0%	81.0%



5 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。  
 なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「Ⅱ 結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。  
 また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「4 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号等の記入がなく、回答者の属性（性別、年代等）が不明なものを示している。

## Ⅱ 結果の内容

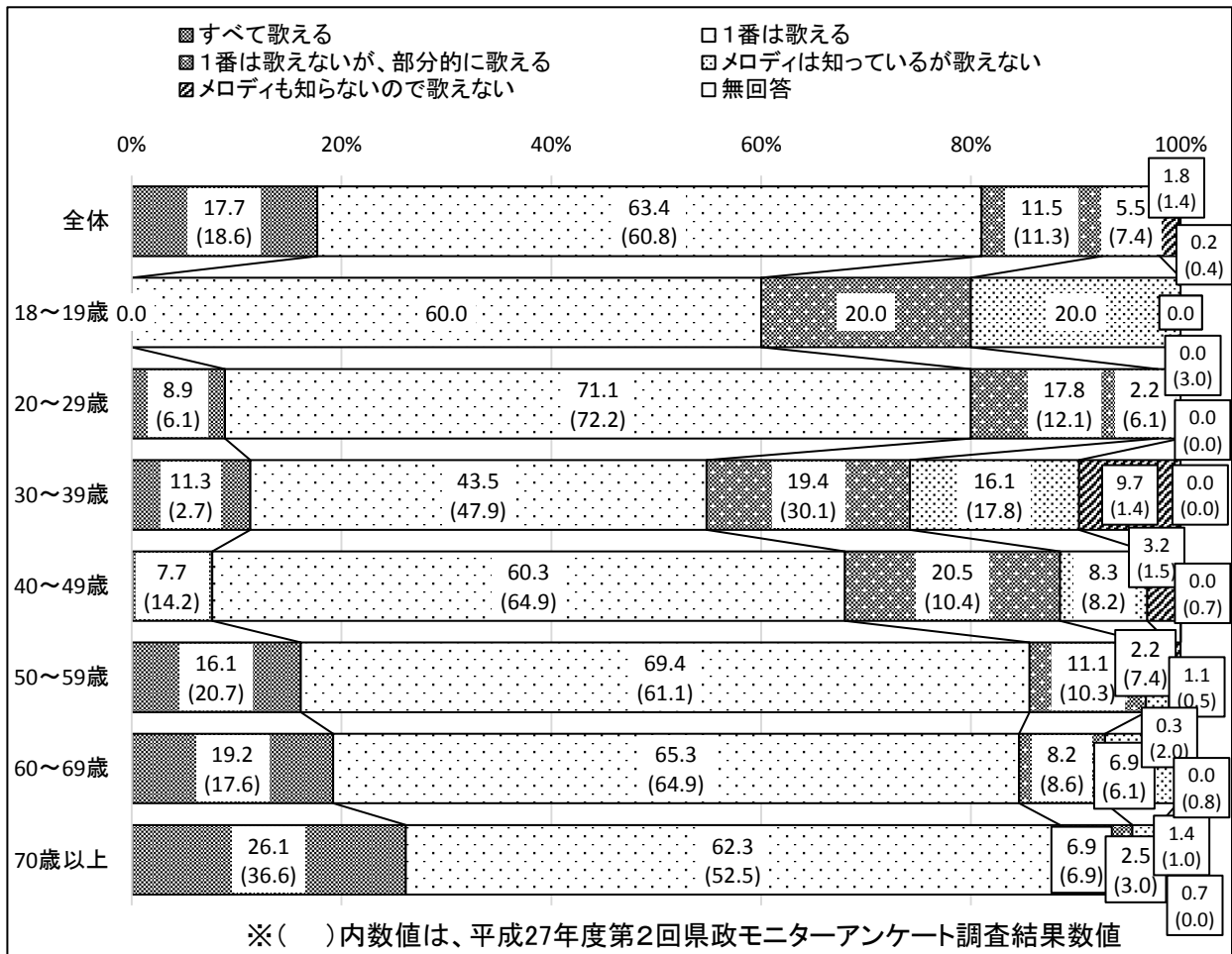
# 《県歌「信濃の国」について》

＜県歌「信濃の国」の認知度等＞  
 「すべて歌える」と「1番は歌える」を合わせて約8割

問1 県歌「信濃の国」を歌えますか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H27年度 n=794	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
すべて歌える	180	17.7	148	18.6
1番は歌える	645	63.4	483	60.8
1番は歌えないが、部分的に歌える(歌詞の一部を歌える)	117	11.5	90	11.3
メロディは知っているが歌えない	56	5.5	59	7.4
メロディも知らないので歌えない	18	1.8	11	1.4
無回答	2	0.2	3	0.4

●「すべて歌える」(17.7%)と「1番は歌える」(63.4%)を合わせて81.1%となっている。年代別では70代以上(88.4%)が最も高く、30代(54.8%)が最も低い。





＜「信濃の国」の効果的な発信方法＞

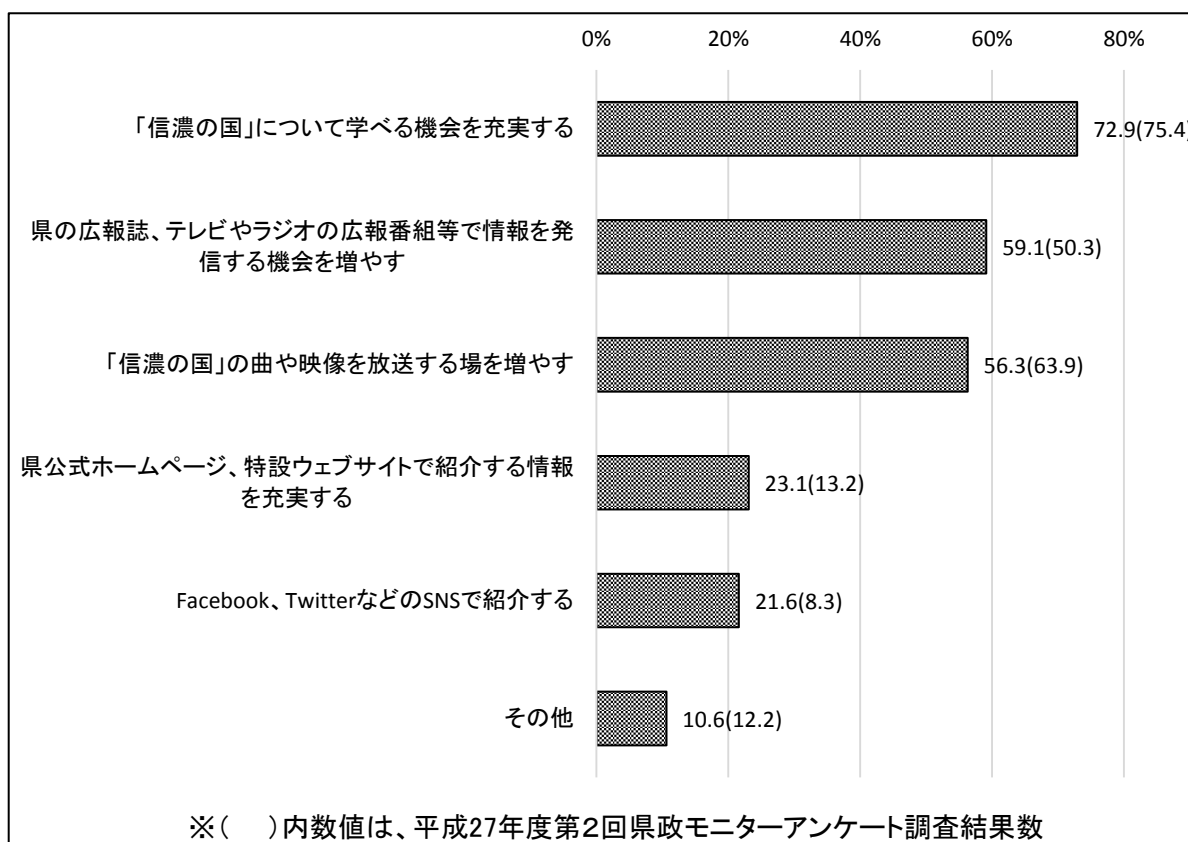
「信濃の国」について学べる機会を充実する」が7割超、「県の広報誌、テレビやラジオの広報番組等で情報を発信する機会を増やす」が約6割

問2 今年度、県歌制定50周年を契機に、「信濃の国」を通して長野県の魅力を再発見したり、県民としての誇りを再認識していただくことを目的に、アルウィン(松本市)でのキックオフイベントの開催や、特設ウェブサイトの開設、写真・動画等の投稿キャンペーンに取り組んできました。

今後、県歌「信濃の国」の魅力をさらに広め、より多くの方々に歌い継いでいただくため、効果的と考えられる取組をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

	H30年度 n=1,018		(参考) H27年度 n=794	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
「信濃の国」について学べる機会を充実する	742	72.9	599	75.4
県の広報誌、テレビやラジオの広報番組等で情報を発信する機会を増やす	602	59.1	399	50.3
「信濃の国」の曲や映像を放送する場を増やす	573	56.3	507	63.9
県公式ホームページ、特設ウェブサイトで紹介する情報を充実する	235	23.1	105	13.2
Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)などのSNSで紹介する	220	21.6	66	8.3
その他	108	10.6	97	12.2

●「信濃の国」について学べる機会を充実する」が72.9%で最も高く、次いで「県の広報誌、テレビやラジオの広報番組等で情報を発信する機会を増やす」(59.1%)、「信濃の国」の曲や映像を放送する場を増やす」(56.3%)となっている。



その他としては「各市町村の有線放送等で曲を流す」、「入学式・卒業式で歌う」、「信号機が青の際に鳴るメロディーに使用する」等の回答が見られた。

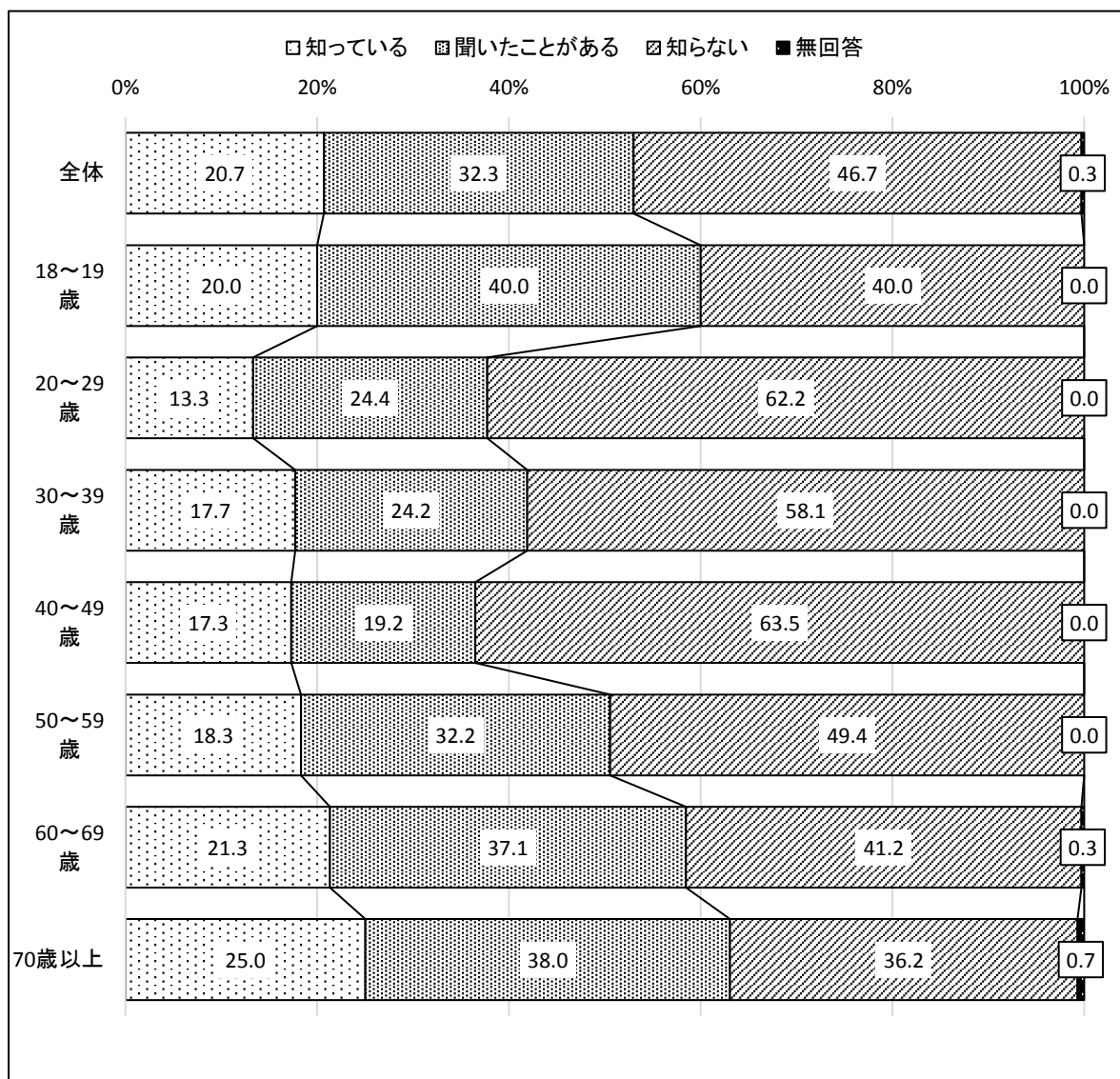
## 《長野県原産地呼称管理制度について》

＜長野県原産地呼称管理制度の認知度＞  
「知っている」と「聞いたことがある」を合わせて5割超

問3 県が実施する「長野県原産地呼称管理制度」をご存知ですか。  
(○は1つ)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
知っている		211	20.7
聞いたことがある		329	32.3
知らない		475	46.7
無回答		3	0.3

●「知っている」(20.7%)と「聞いたことがある」(32.3%)を合わせて53.0%となっている。年代別では70代以上(63.0%)が最も高く、40代(36.5%)が最も低い。



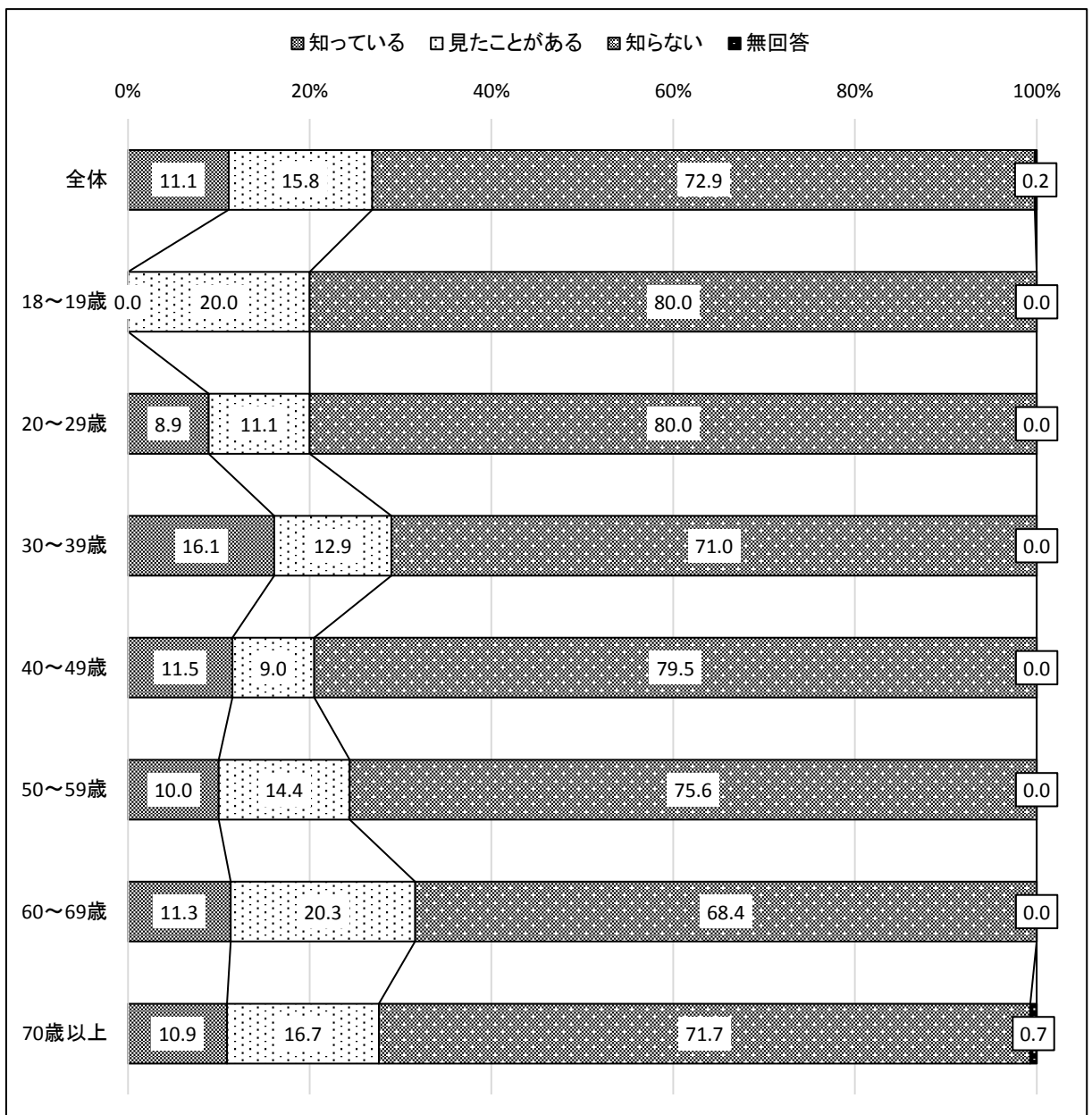
＜認定マークの認知度＞

「知っている」と「見たことがある」を合わせて3割弱

問4 「長野県原産地呼称管理制度」で認定品を示す、認定マークをご存知ですか。(○は1つ)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
知っている		113	11.1
見たことがある		161	15.8
知らない		742	72.9
無回答		2	0.2

●「知っている」(11.1%)と「見たことがある」(15.8%)を合わせて26.9%となっている。年代別では60代(31.6%)が最も高く、20代以下(20.0%)が最も低い。



<認定品目の認知度>

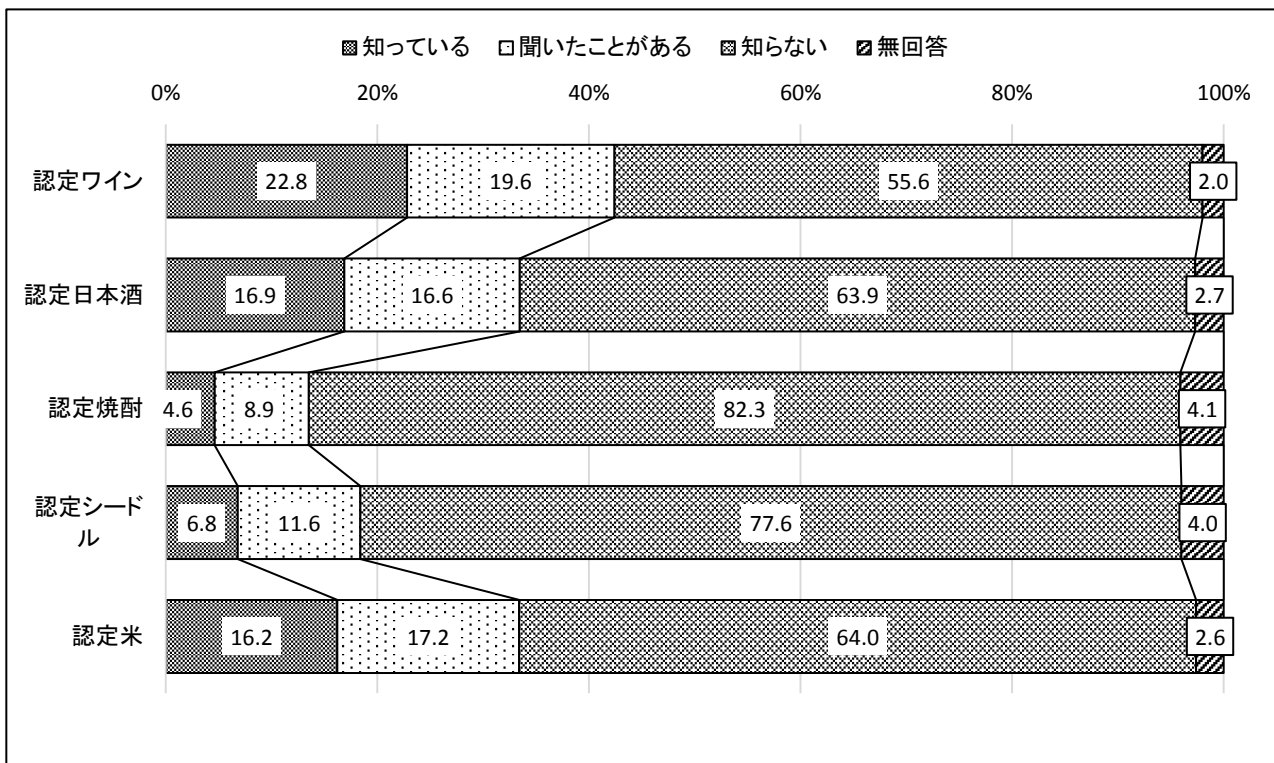
「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた割合は、「認定ワイン」が約4割、「認定日本酒」が3割超

問5 「長野県原産地呼称管理制度」で認定している、下記の品目をご存知ですか。  
①～⑤それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

上段:回答数(人)  
下段:割合(%)  
n=1,018

		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
① 認定ワイン		232	200	566	20
		22.8	19.6	55.6	2.0
② 認定日本酒		172	169	650	27
		16.9	16.6	63.9	2.7
③ 認定焼酎		47	91	838	42
		4.6	8.9	82.3	4.1
④ 認定シードル		69	118	790	41
		6.8	11.6	77.6	4.0
⑤ 認定米		165	175	652	26
		16.2	17.2	64.0	2.6

●「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた割合は、「認定ワイン」が42.4%と最も高く、次に「認定日本酒」(33.5%)、「認定米」(33.4%)となっている。



## 《信州ブランド戦略について》

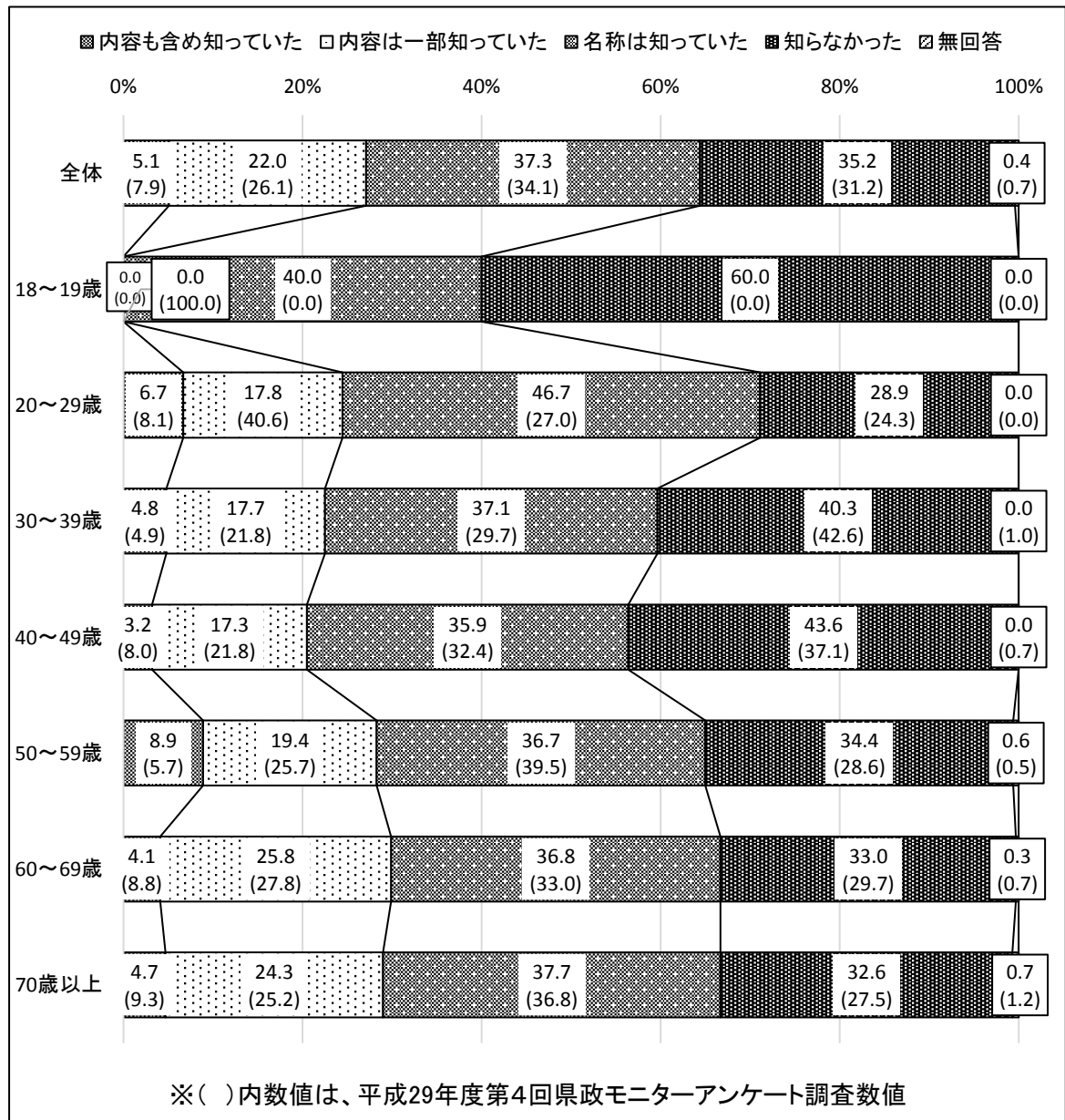
### ＜「信州ブランド戦略」の認知度＞

「内容も含め知っていた」、「内容は一部知っていた」、「名称は知っていた」を合わせて6割超

問6 県がブランド戦略「信州ブランド戦略」を進めていることをご存知ですか。(〇は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
内容も含め知っていた	52	5.1	78	7.9
内容は一部知っていた	224	22.0	257	26.1
名称は知っていた	380	37.3	336	34.1
知らなかった	358	35.2	308	31.2
無回答	4	0.4	7	0.7

●「内容も含め知っていた」、「内容は一部知っていた」、「名称は知っていた」を合わせると64.4%となっている。

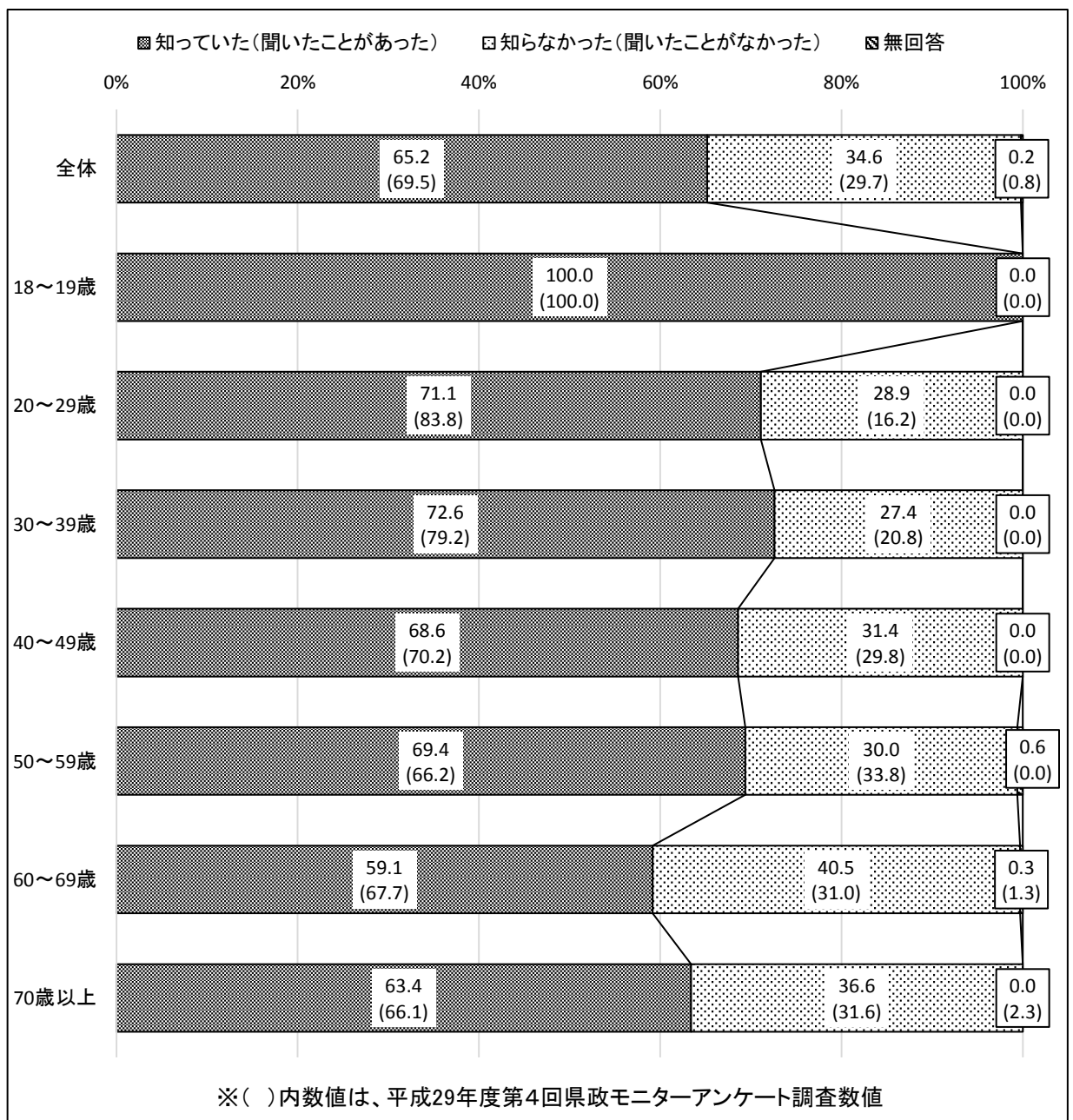


＜信州ブランド戦略キャッチフレーズ「しあわせ信州」の認知度＞  
 「しあわせ信州」という言葉を「知っていた(聞いたことがあった)」が6割超

問7 「しあわせ信州」という言葉をご存知ですか。または、聞いたことがありますか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
知っていた(聞いたことがあった)	664	65.2	685	69.5
知らなかった(聞いたことがなかった)	352	34.6	293	29.7
無回答	2	0.2	8	0.8

●「知っていた(聞いたことがあった)」が65.2%となっている。年代別では10代(100%)が最も高く、60代(59.1%)が最も低い。

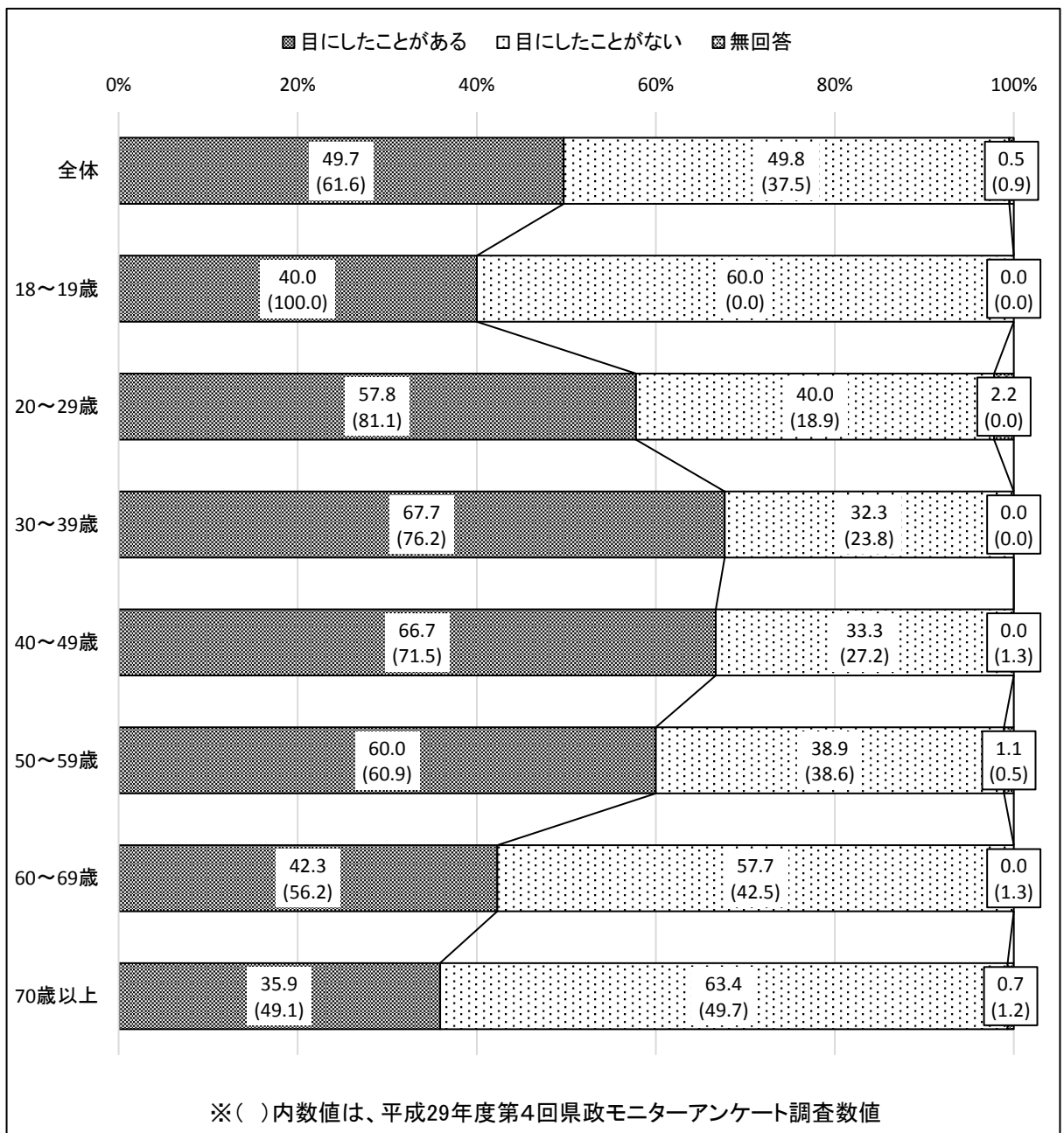


＜信州ブランド戦略ロゴマーク「信州ハート」の認知度＞  
 「信州ハート」を「目にしたことがある」が約5割

問8 「信州ハート」を目にしたことがありますか。(〇は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
目にしたことがある	506	49.7	607	61.6
目にしたことがない	507	49.8	370	37.5
無回答	5	0.5	9	0.9

●「目にしたことがある」が49.7%となっている。年代別では30代(67.7%)が最も高く、70代以上(35.9%)が最も低い。

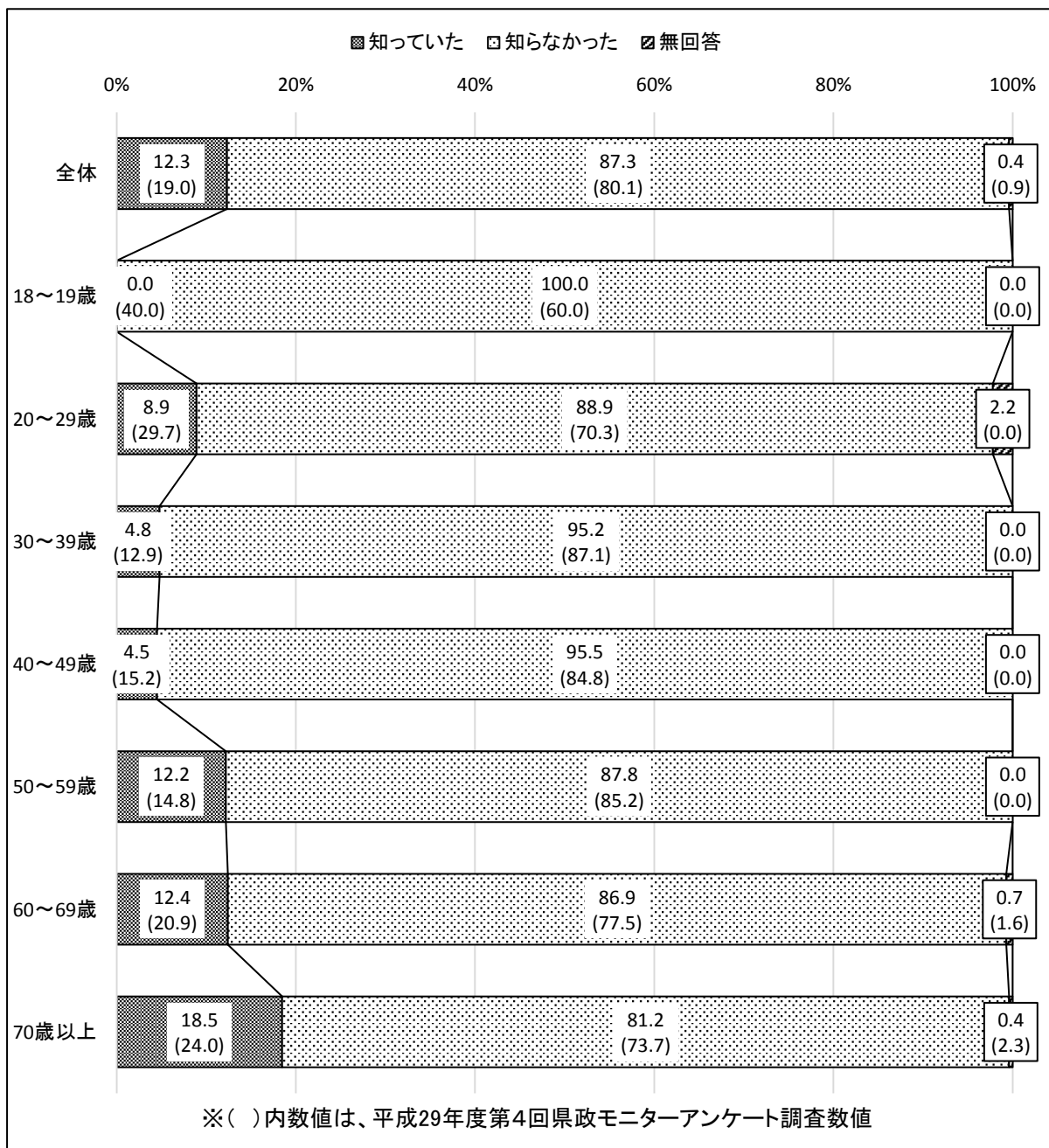


＜「信州ハート」に込められた意味の認知度＞  
 意味を「知っていた」が約1割

問9 「信州ハート」に込められた意味を知っていましたか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
知っていた	125	12.3	187	19.0
知らなかった	889	87.3	790	80.1
無回答	4	0.4	9	0.9

●「知っていた」が12.3%となっている。年代別では70代以上(18.5%)が最も高く、10代(0.0%)が最も低い。





## 《長野県森林づくり県民税（森林税）について》

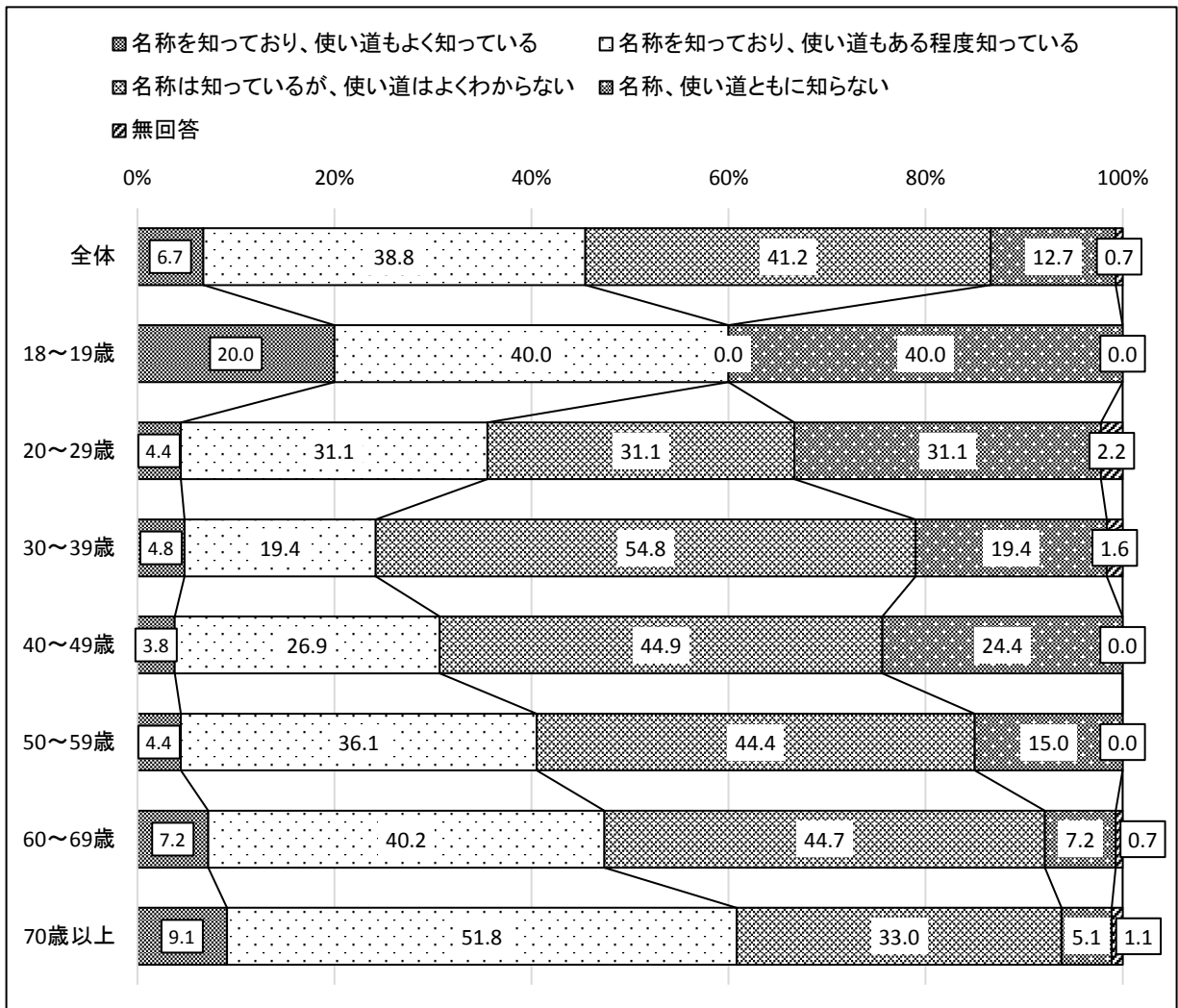
### ＜森林税の認知度＞

「名称を知っており、使い道もよく知っている」と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」を合わせて4割超、名称のみを知っている方を含めると9割弱

問 10[1] 森林税の名称や使い道についてご存知ですか。(○は1つ)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
① 名称を知っており、使い道もよく知っている		68	6.7
② 名称を知っており、使い道もある程度知っている		395	38.8
③ 名称は知っているが、使い道はよくわからない		419	41.2
④ 名称、使い道ともに知らない		129	12.7
無回答		7	0.7

●「名称を知っており、使い道もよく知っている」(6.7%)と「名称を知っており、使い道もある程度知っている」(38.8%)を合わせて45.5%となっている。年代別では、70代以上(60.9%)が最も高く、30代(24.2%)が最も低い。



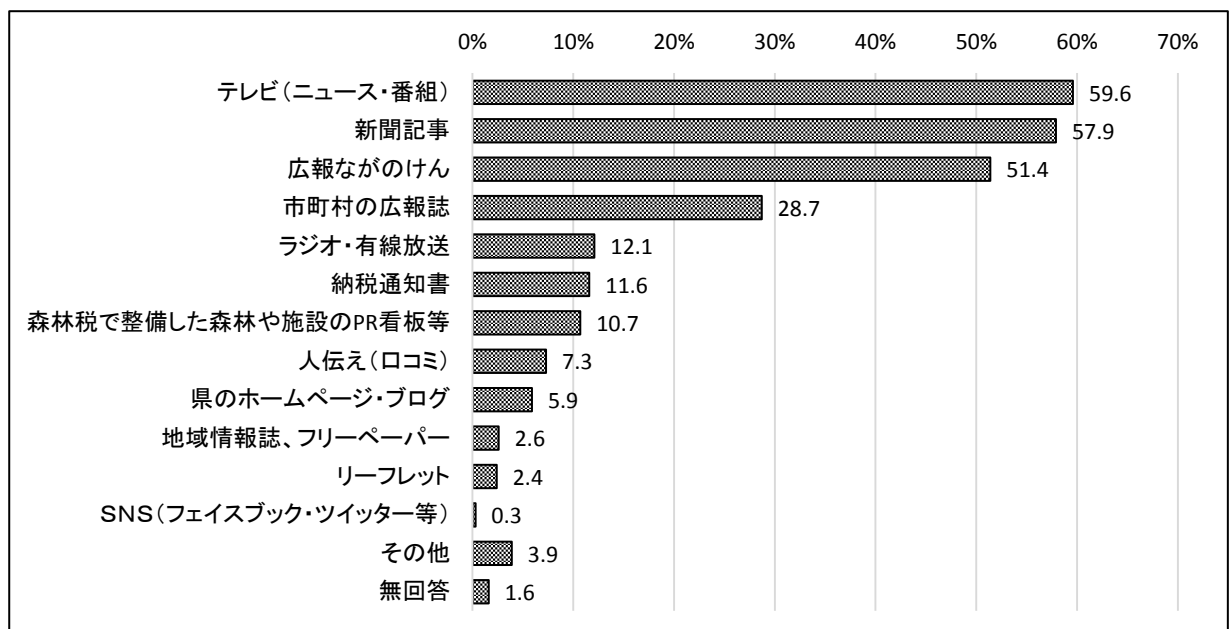
＜森林税を認知した媒体＞

「テレビ(ニュース・番組)」、「新聞記事」がともに約6割、「広報ながのけん」が約5割

問 問10[1]で①、②または③を選ばれた方にお伺いします。  
 10[2] 森林税の名称、使い道などを、どのようにお知りになりましたか。  
 これまでに森林税について見たり聞いたりしたことがある項目を全て、次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

	n= 882	回答数(人)	割合(%)
テレビ(ニュース・番組)		526	59.6
新聞記事		511	57.9
広報ながのけん		453	51.4
市町村の広報誌		253	28.7
ラジオ・有線放送		107	12.1
納税通知書		102	11.6
森林税で整備した森林や施設のPR看板等		94	10.7
人伝え(口コミ)		64	7.3
県のホームページ・ブログ		52	5.9
地域情報誌、フリーペーパー		23	2.6
リーフレット		21	2.4
SNS(フェイスブック・ツイッター等)		3	0.3
その他		34	3.9
無回答		14	1.6

●「テレビ(ニュース・番組)」が59.6%と最も高く、次いで「新聞記事」(57.9%)、「広報ながのけん」(51.4%)となっている。



その他としては「自治体の説明会」、「仕事」、「森林整備ボランティア」等の回答が見られた。

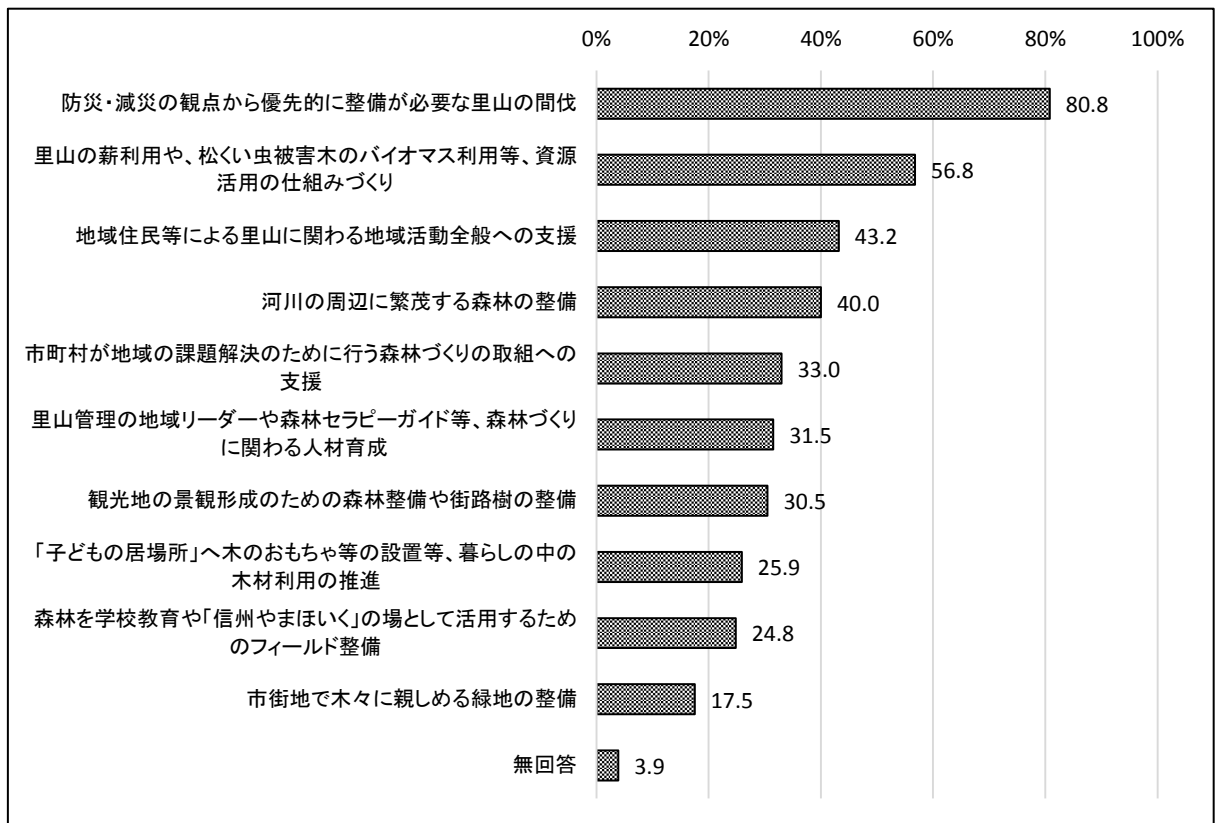
＜森林税を活用した取組のうち認知しているもの＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が約8割、「里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」が6割弱

問 問10[1]で①または②を選ばれた方にお伺いします。  
 10[3] 森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが  
 見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。(〇はいくつでも)

	n= 463	回答数(人)	割合(%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐		374	80.8
里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり		263	56.8
地域住民等による里山に関わる地域活動全般への支援		200	43.2
河川の周辺に繁茂する森林の整備		185	40.0
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援		153	33.0
里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成		146	31.5
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備		141	30.5
「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進		120	25.9
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備		115	24.8
市街地で木々に親しめる緑地の整備		81	17.5
無回答		18	3.9

●「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が80.8%と最も高く、次いで「里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」(56.8%)、「地域住民等による里山に関わる地域活動全般への支援」(43.2%)となっている。



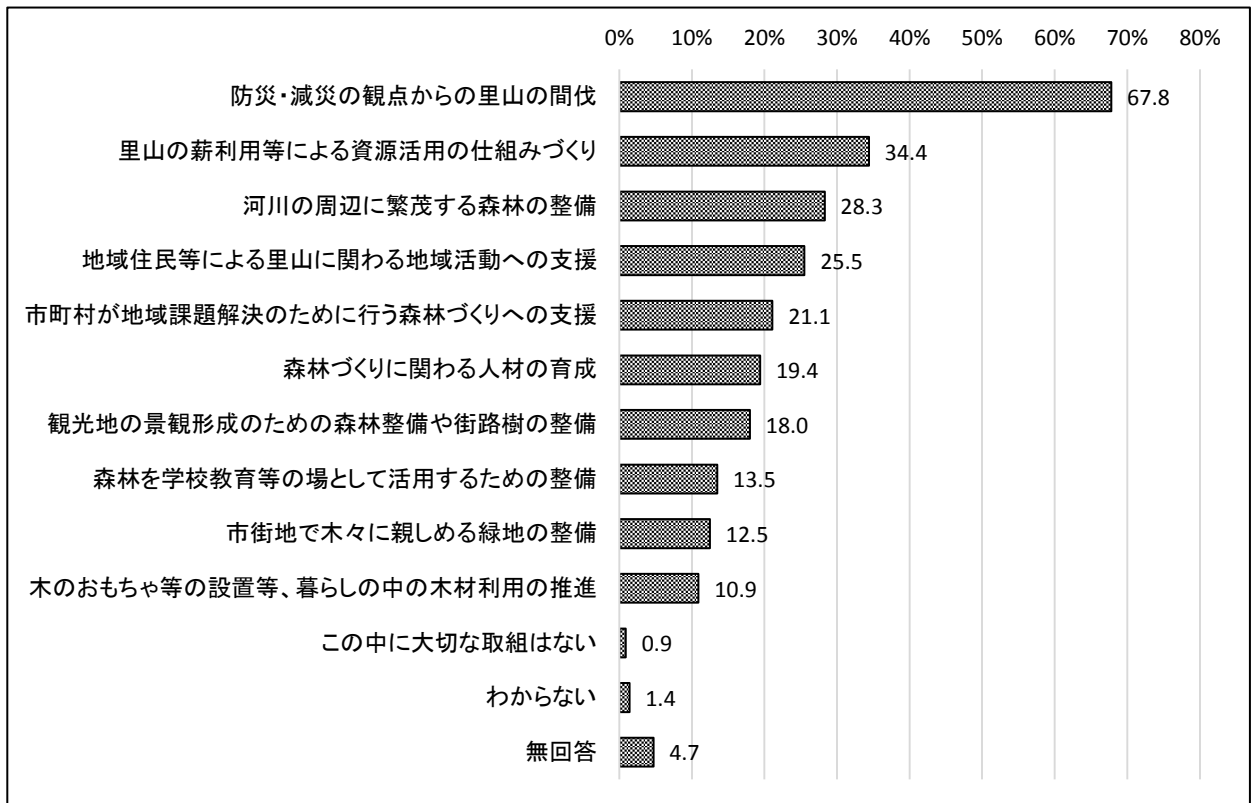
＜森林税を活用した取組の優先度＞

「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が約7割、「里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」が3割超

問11 森林税を活用した取組についてお伺いします。  
森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが特に大切だと思う取組を選んでください。(〇は3つまで)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐		690	67.8
里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり		350	34.4
河川の周辺に繁茂する森林の整備		288	28.3
地域住民等による里山に関わる地域活動全般への支援		260	25.5
市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援		215	21.1
里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成		197	19.4
観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備		183	18.0
森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備		137	13.5
市街地で木々に親しめる緑地の整備		127	12.5
「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進		111	10.9
この中に大切な取組はない		9	0.9
わからない		14	1.4
無回答		48	4.7

●「防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐」が67.8%と最も高く、次いで「里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり」(34.4%)、「河川の周辺に繁茂する森林の整備」(28.3%)となっている。



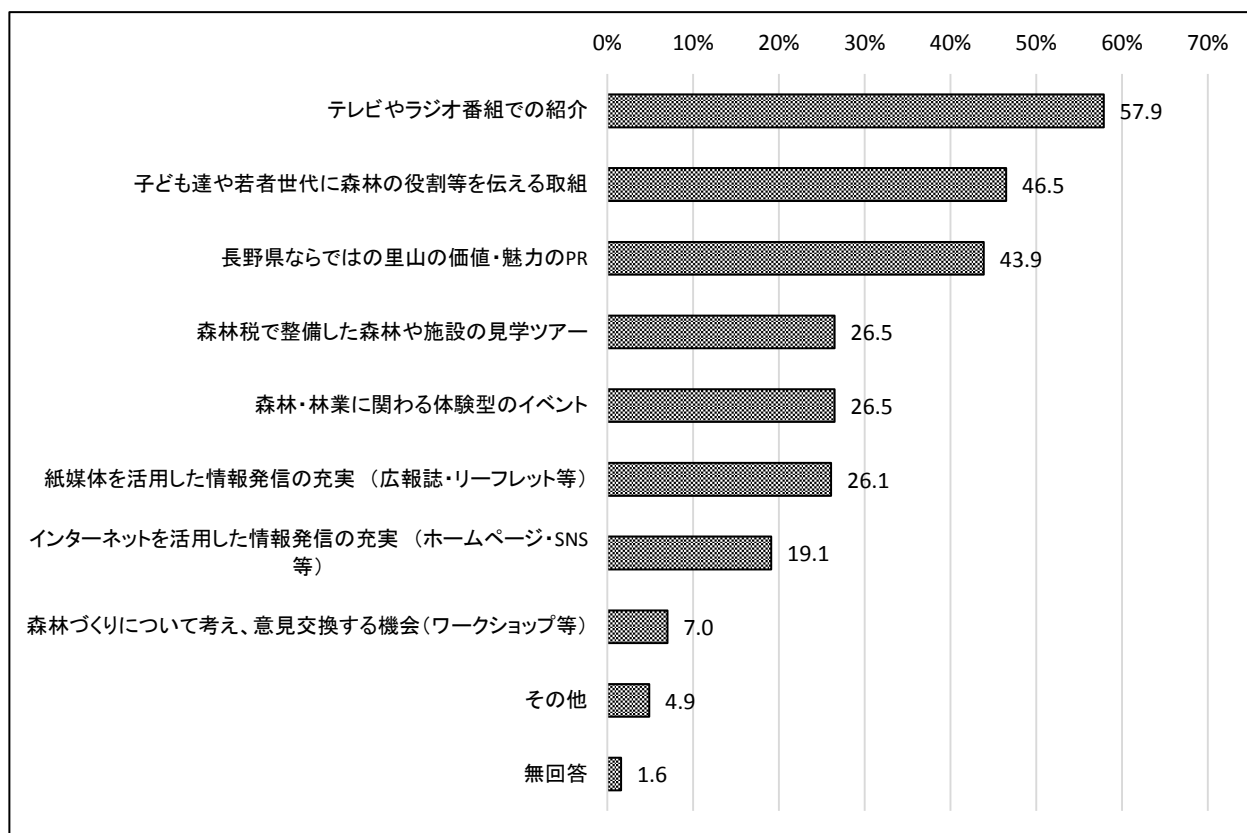
＜森林税を身近に感じてもらうために有効な取組＞

「テレビやラジオ番組での紹介」が約6割、「子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組」が5割弱

問12 森林税やその使い道が、県民の皆様にとってより身近に感じられるものとなるためには、どのような取組が大事だと思いますか。(〇は3つまで)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
テレビやラジオ番組での紹介		589	57.9
子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組		473	46.5
長野県ならではの里山の価値・魅力のPR		447	43.9
森林税で整備した森林や施設の見学ツアー		270	26.5
森林・林業に関わる体験型のイベント		270	26.5
紙媒体を活用した情報発信の充実(広報誌・リーフレット等)		266	26.1
インターネットを活用した情報発信の充実(ホームページ・SNS等)		194	19.1
森林づくりについて考え、意見交換する機会(ワークショップ等)		71	7.0
その他		50	4.9
無回答		16	1.6

●「テレビやラジオ番組での紹介」が57.9%と最も高く、次いで「子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組」(46.5%)、「長野県ならではの里山の価値・魅力のPR」(43.9%)となっている。



その他としては「事業実施状況の写真、地図等を使った広報」、「街頭看板での広報」、「森林税による効果のPR」等の回答が見られた。

## 《文化芸術活動に関する実感について》

＜文化芸術活動に参加した人の割合＞  
過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行った人は約6割

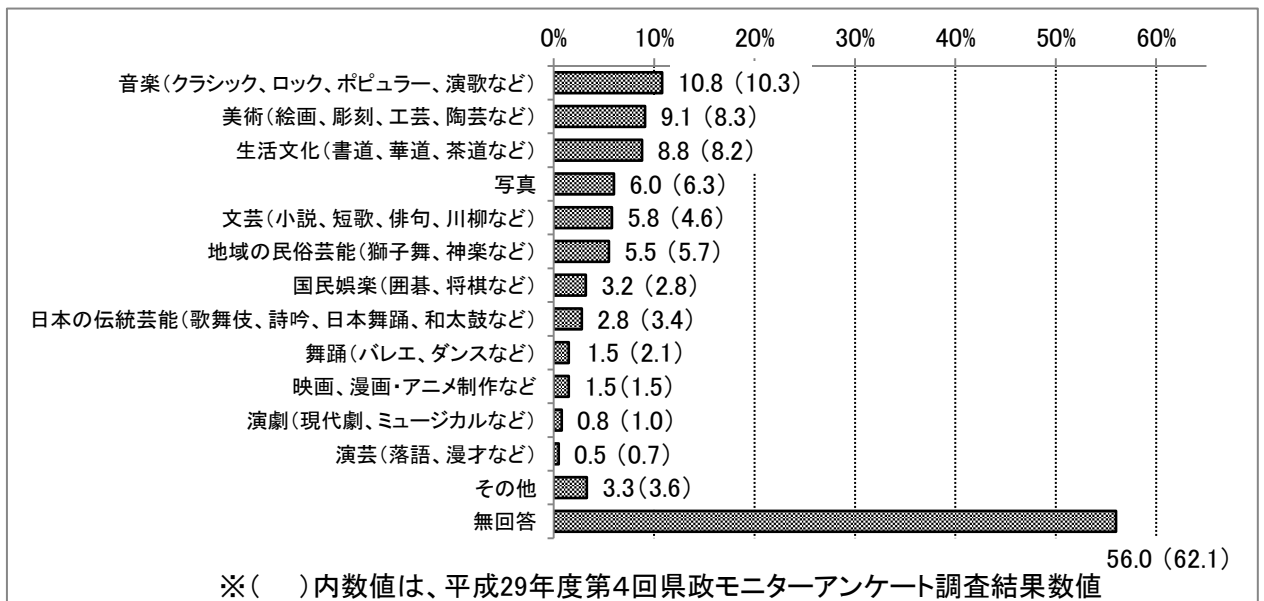
問 13-1 過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む)を行いましたか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
はい	602	59.1	672	68.2
いいえ	415	40.8	312	31.6
無回答	1	0.1	2	0.2

問 13-2 問13で「①はい」を選ばれた方にお伺いします。以下のどのような文化芸術活動を行いましたか。自ら創作・参加した文化芸術活動、又は文化芸術作品の鑑賞をしたものについて、あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも、両方でも)

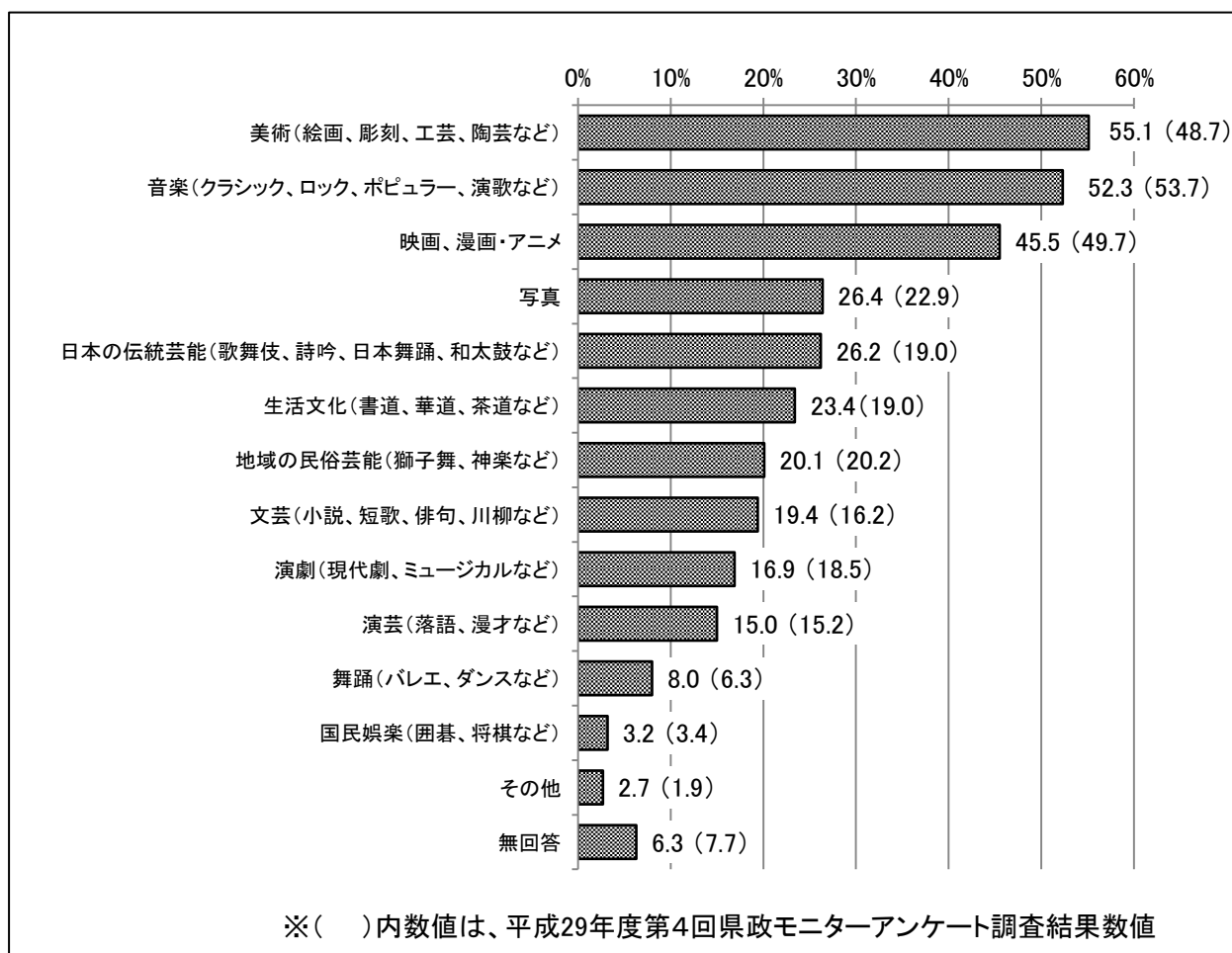
■ 自ら創作・参加する文化芸術活動を行なった	H30年度 n=602		(参考) H29年度 n=672	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	65	10.8	69	10.3
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	55	9.1	56	8.3
生活文化(書道、華道、茶道など)	53	8.8	55	8.2
写真	36	6.0	42	6.3
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	35	5.8	31	4.6
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	33	5.5	38	5.7
国民娯楽(囲碁、将棋など)	19	3.2	19	2.8
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	17	2.8	23	3.4
舞踊(バレエ、ダンスなど)	9	1.5	14	2.1
映画、漫画・アニメ制作など	9	1.5	10	1.5
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	5	0.8	7	1.0
演芸(落語、漫才など)	3	0.5	5	0.7
その他	20	3.3	24	3.6
無回答	337	56.0	417	62.1

●自ら創作・参加した文化芸術活動は「音楽」(10.8%)が最も高く、次いで「美術」(9.1%)、「生活文化」(8.8%)となっている。



■ 文化芸術作品の鑑賞活動を行った	H30年度 n=602		(参考) H29年度 n=672	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	332	55.1	327	48.7
音楽(クラシック、ロック、ポピュラー、演歌など)	315	52.3	361	53.7
映画、漫画・アニメ	274	45.5	334	49.7
写真	159	26.4	154	22.9
日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)	158	26.2	128	19.0
生活文化(書道、華道、茶道など)	141	23.4	128	19.0
地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)	121	20.1	136	20.2
文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)	117	19.4	109	16.2
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	102	16.9	124	18.5
演芸(落語、漫才など)	90	15.0	102	15.2
舞踊(バレエ、ダンスなど)	48	8.0	42	6.3
国民娯楽(囲碁、将棋など)	19	3.2	23	3.4
その他	16	2.7	13	1.9
無回答	38	6.3	52	7.7

●鑑賞活動は「美術」が55.1%と最も高く、次いで「音楽」(52.3%)、「映画、漫画・アニメ」(45.5%)となっている。

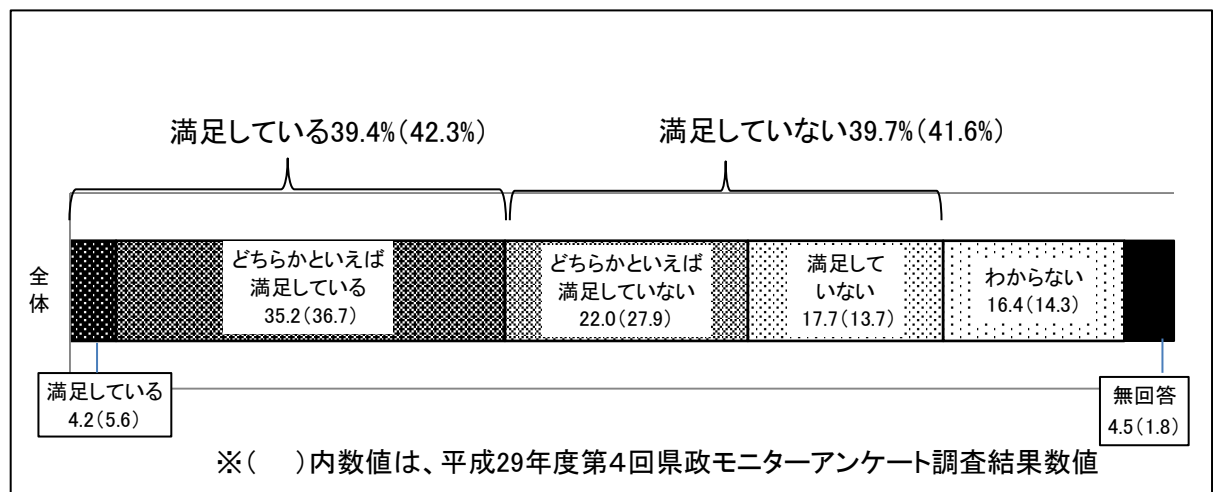


<住んでいる地域の文化的環境の満足度>  
 「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせて約4割

問14 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。(○は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
満足している	43	4.2	55	5.6
どちらかといえば満足している	358	35.2	362	36.7
どちらかといえば満足していない	224	22.0	275	27.9
満足していない	180	17.7	135	13.7
わからない	167	16.4	141	14.3
無回答	46	4.5	18	1.8

●「満足している」(4.2%)と「どちらかといえば満足している」(35.2%)を合わせて39.4%、「どちらかといえば満足していない」(22.0%)と「満足していない」(17.7%)を合わせて39.7%となっている。





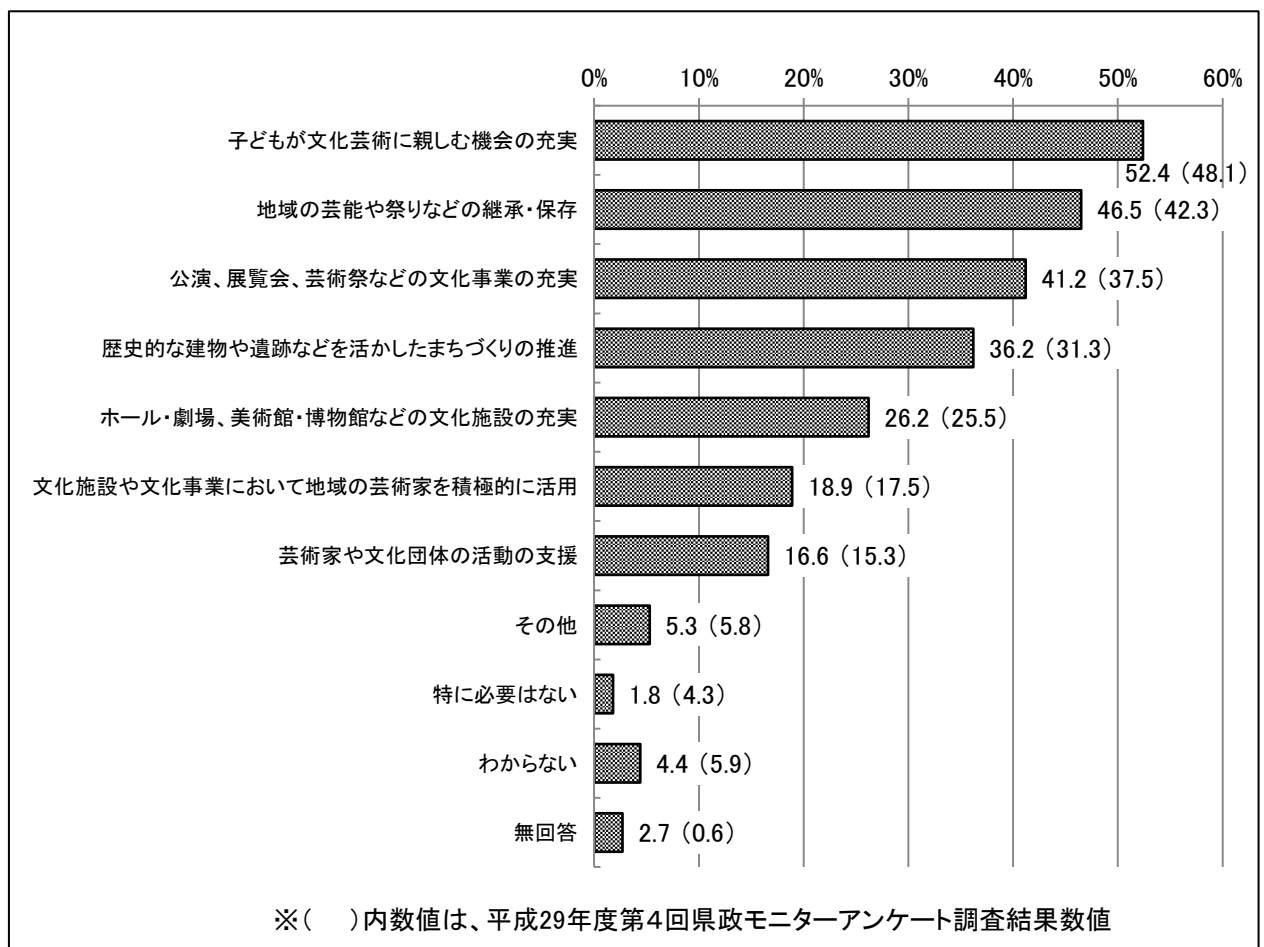
＜地域の文化的環境の充実に必要な事項＞

「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が約5割、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」が5割弱

問15 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	533	52.4	474	48.1
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	473	46.5	417	42.3
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	419	41.2	370	37.5
歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	369	36.2	309	31.3
ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	267	26.2	251	25.5
文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用	192	18.9	173	17.5
芸術家や文化団体の活動の支援	169	16.6	151	15.3
その他	54	5.3	57	5.8
特に必要はない	18	1.8	42	4.3
わからない	45	4.4	58	5.9
無回答	27	2.7	6	0.6

●「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が52.4%と最も高く、次いで「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」(46.5%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(41.2%)となっている。



その他としては「駐車場の充実」、「アクセス手段の充実」等の回答が見られた。

## 《健康づくりに関する実感について》

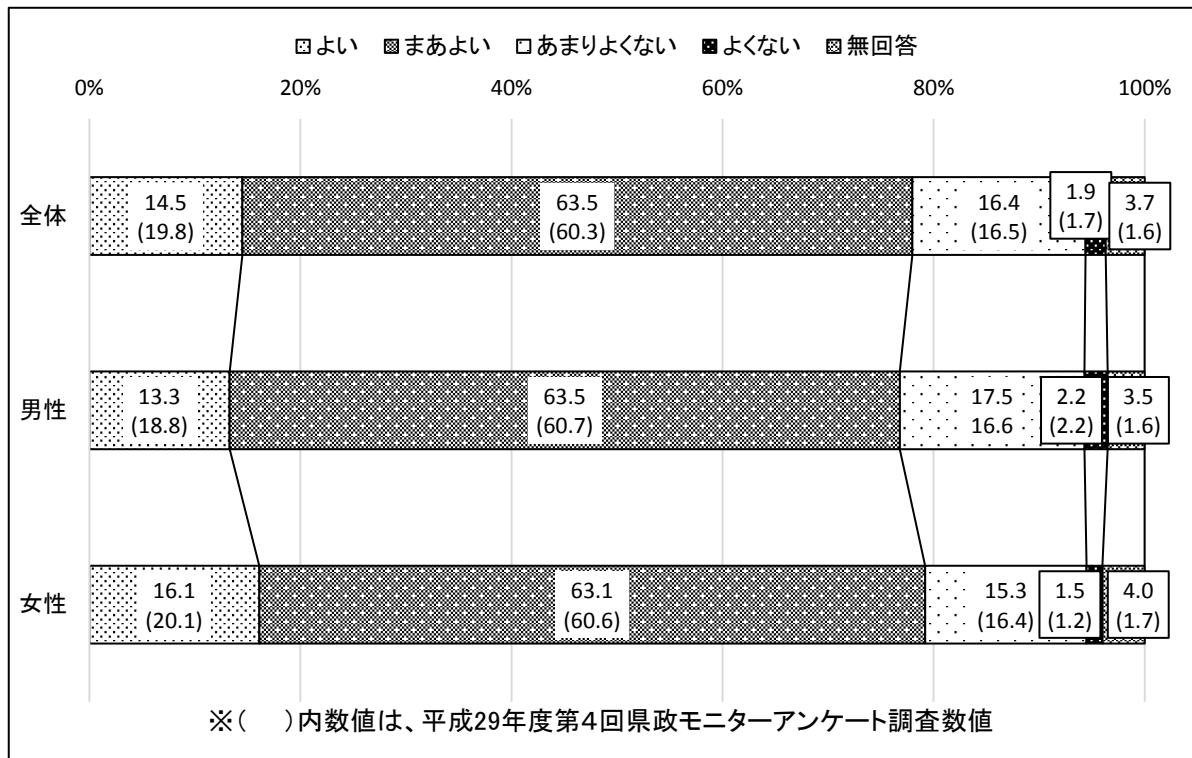
＜自分の健康状態＞

「よい」と「まあよい」を合わせて約8割

問16 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(〇は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考)H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よい	148	14.5	195	19.8
まあよい	646	63.5	595	60.3
あまりよくない	167	16.4	163	16.5
よくない	19	1.9	17	1.7
無回答	38	3.7	16	1.6

●「よい」(14.5%)と「まあよい」(63.5%)を合わせて78.0%となっている。



＜健康の維持・増進に関する取組＞

「取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」を合わせた割合、「健康診断受診に関すること」、「食生活に関すること」が8割超

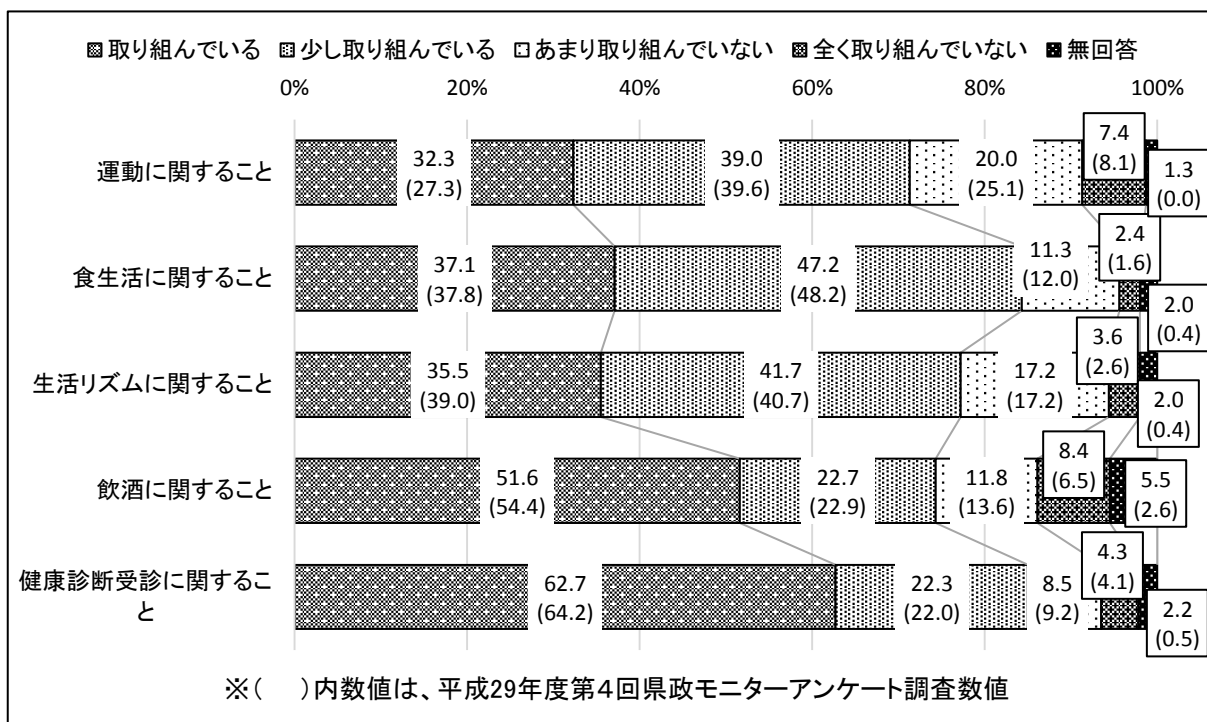
問 17-1 現在(またはこの1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。  
(項目ごとに○は1つずつ)

	n=1,018					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
運動に関すること	329	397	204	75	13	32.3	39.0	20.0	7.4	1.3
食生活に関すること	378	481	115	24	20	37.1	47.2	11.3	2.4	2.0
生活リズムに関すること	361	425	175	37	20	35.5	41.7	17.2	3.6	2.0
飲酒に関すること	525	231	120	86	56	51.6	22.7	11.8	8.4	5.5
健康診断受診に関すること	638	227	87	44	22	62.7	22.3	8.5	4.3	2.2
その他	45					4.4				

(参考)H29年度

	n=986					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
運動に関すること	269	390	247	80	0	27.3	39.6	25.1	8.1	0.0
食生活に関すること	373	475	118	16	4	37.8	48.2	12.0	1.6	0.4
生活リズムに関すること	385	401	170	26	4	39.0	40.7	17.2	2.6	0.4
飲酒に関すること	536	226	134	64	26	54.4	22.9	13.6	6.5	2.6
健康診断受診に関すること	633	217	91	40	5	64.2	22.0	9.2	4.1	0.5
その他	20					2.0				

●「取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」を合わせた割合は、「健康診断受診に関すること」が85.0%と最も高く、次いで「食生活に関すること」(84.3%)、「生活リズムに関すること」(77.2%)となっている。



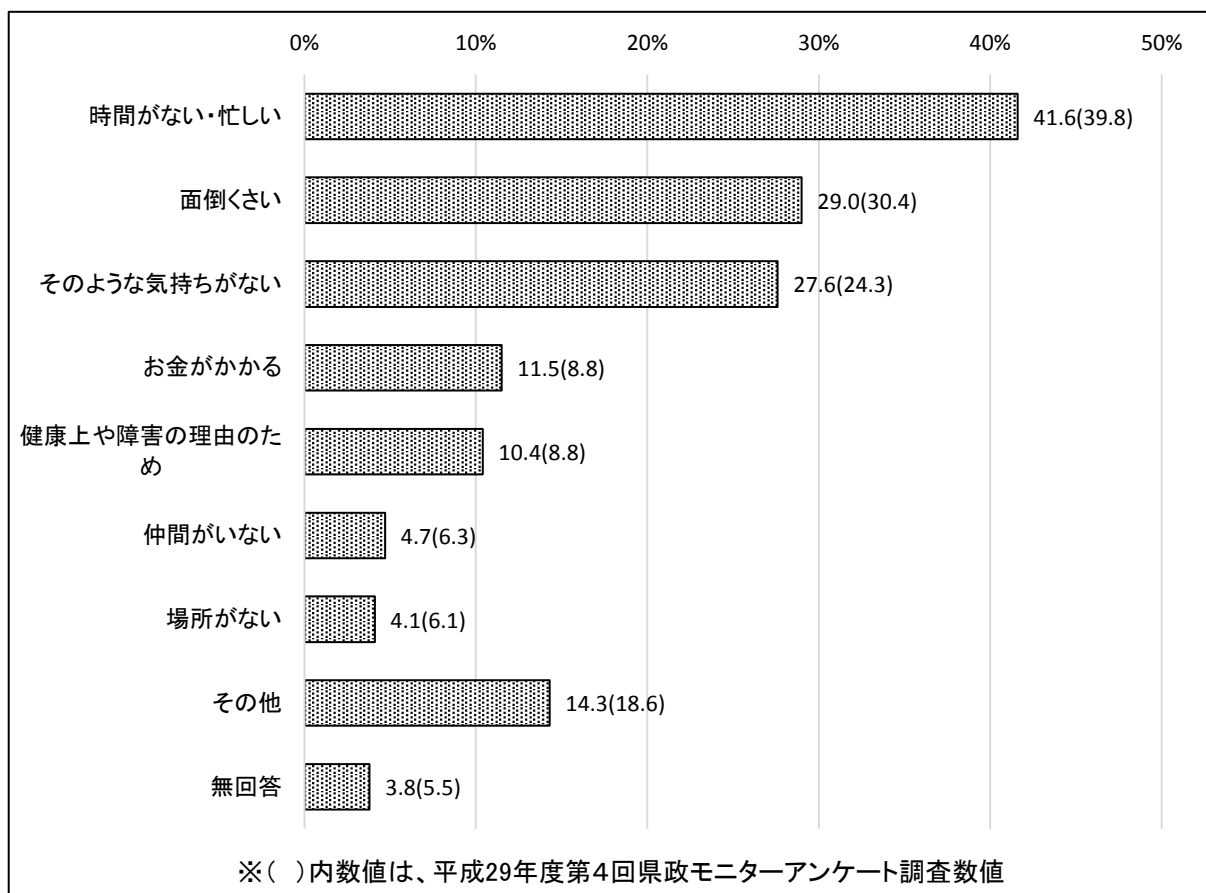
その他としては「ストレスを溜めない工夫」、「認知症予防」等の回答が見られた。

＜健康の維持・増進に関する取組を行わない理由＞  
「時間がない・忙しい」が約4割、「面倒くさい」が約3割

問 問17-1の項目のうち、1項目でも「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」に○をした方  
17-2 は、その理由をお答えください。(○はいくつでも)

	H30年度 n=558		(参考)H29年度 n=560	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
時間がない・忙しい	232	41.6	223	39.8
面倒くさい	162	29.0	170	30.4
そのような気持ちがない	154	27.6	136	24.3
お金がかかる	64	11.5	49	8.8
健康上や障害の理由のため	58	10.4	49	8.8
仲間がいない	26	4.7	35	6.3
場所がない	23	4.1	34	6.1
その他	80	14.3	104	18.6
無回答	21	3.8	31	5.5

●「時間がない・忙しい」が41.6%と最も高く、次いで「面倒くさい」(29.0%)、「そのような気持ちがない」(27.6%)となっている。



その他としては「そもそも飲酒しない」、「ストレスが溜まる」等の回答が見られた。

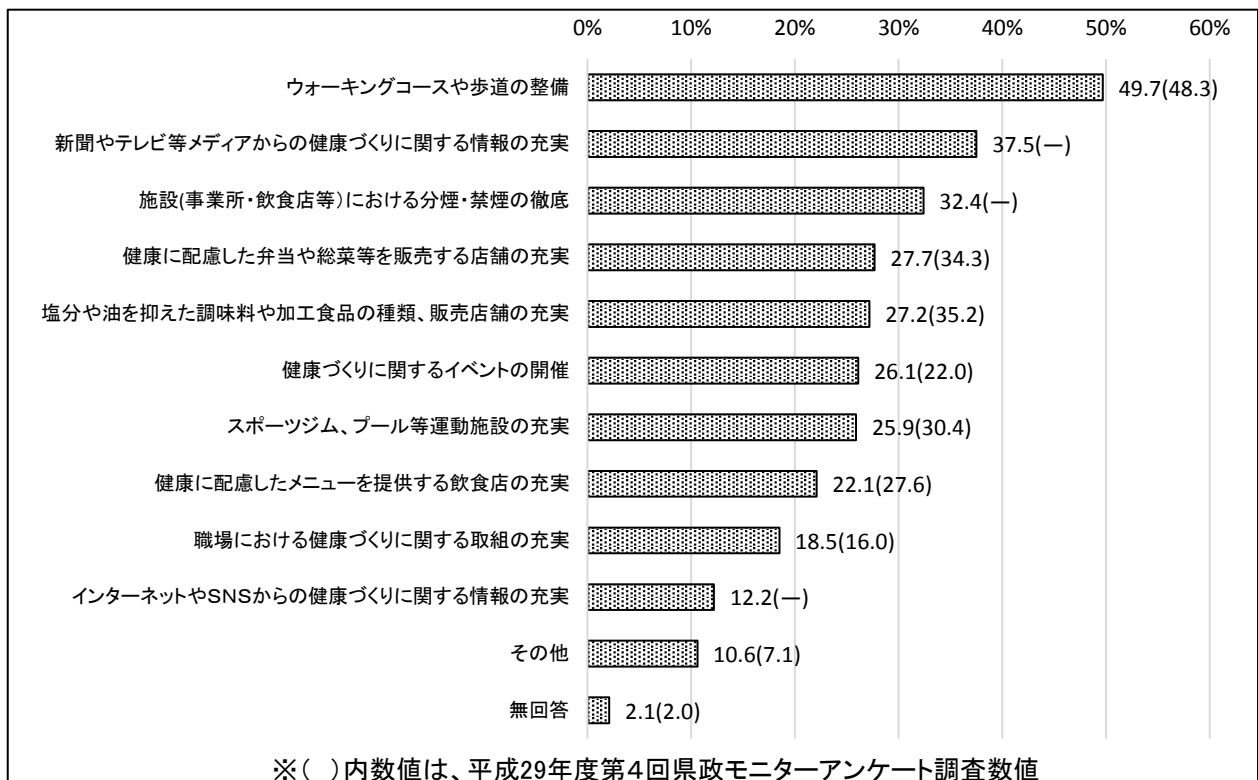
＜健康づくりを進める上で必要な環境づくり＞

ウォーキングコースや歩道の整備」が約5割、「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」が約4割

問18 ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。  
(○はいくつでも)

	H30年度 n=1,018		(参考)H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ウォーキングコースや歩道の整備	506	49.7	476	48.3
新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実	382	37.5	-	-
施設(事業所・飲食店等)における分煙・禁煙の徹底	330	32.4	-	-
健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実	282	27.7	338	34.3
塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実	277	27.2	347	35.2
健康づくりに関するイベントの開催	266	26.1	217	22.0
スポーツジム、プール等運動施設の充実	264	25.9	300	30.4
健康に配慮したメニューを提供する飲食店の充実	225	22.1	272	27.6
職場における健康づくりに関する取組の充実	188	18.5	158	16.0
インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報の充実	124	12.2	-	-
その他	108	10.6	70	7.1
無回答	21	2.1	20	2.0

●「ウォーキングコースや歩道の整備」が49.7%と最も高く、次いで「新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実」(37.5%)、「施設(事業所・飲食店等)における分煙・禁煙の徹底」(32.4%)となっている。



その他としては「働き方改革の推進」、「健康に配慮したメニューを扱う料理教室の充実」等の回答が見られた。

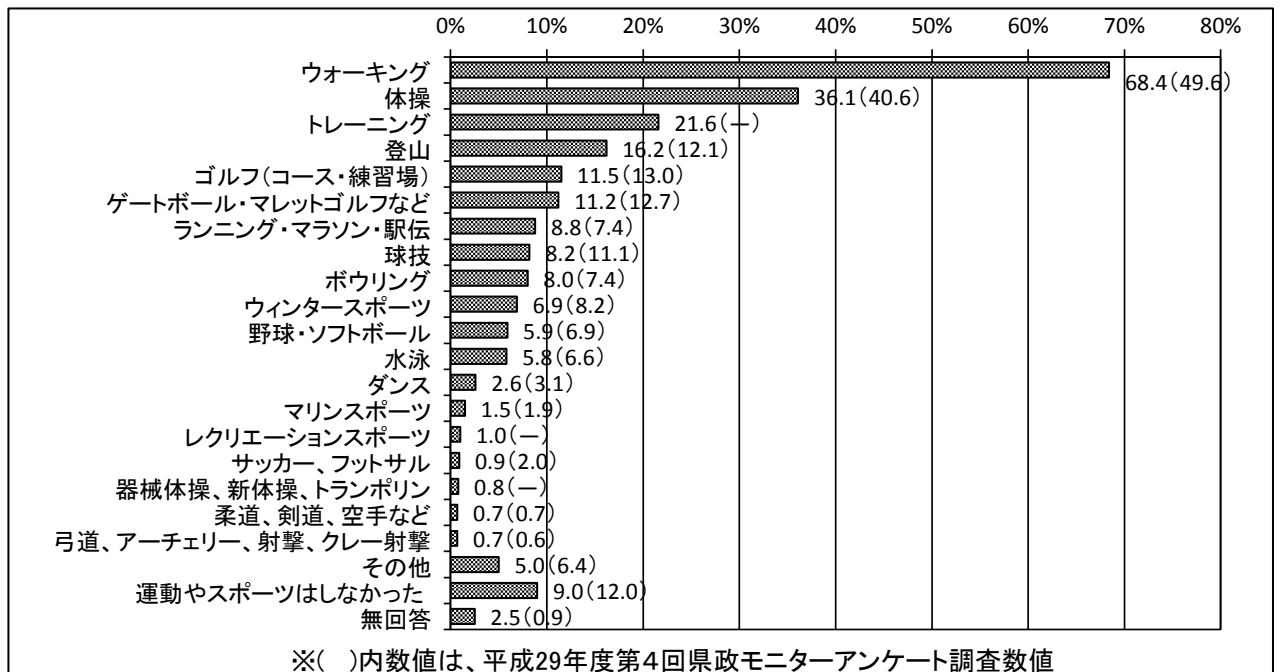
## 《運動・スポーツに関する実感について》

＜この1年間に行った運動・スポーツの種類＞  
「ウォーキング」が約7割、「体操」が4割弱

問19 この中にあなたが過去1年間に行った運動・スポーツがあれば挙げてください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。(〇は5つまで)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	696	68.4	489	49.6
体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)	367	36.1	400	40.6
トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)	220	21.6	-	-
登山(クライミングを含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル	165	16.2	119	12.1
ゴルフ(コース・練習場)	117	11.5	128	13.0
ゲートボール・グランドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナックゴルフなど	114	11.2	125	12.7
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	90	8.8	73	7.4
球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、ドッジボールなど)	83	8.2	109	11.1
ボウリング	81	8.0	73	7.4
ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)	70	6.9	81	8.2
野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む)	60	5.9	68	6.9
水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)	59	5.8	65	6.6
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)	26	2.6	31	3.1
マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)	15	1.5	19	1.9
レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラなど)	10	1.0	-	-
サッカー、フットサル	9	0.9	20	2.0
器械体操、新体操、トランポリン	8	0.8	-	-
柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	7	0.7	7	0.7
弓道、アーチェリー、射撃、クレー射撃	7	0.7	6	0.6
その他	51	5.0	63	6.4
運動やスポーツはしなかった	92	9.0	118	12.0
無回答	25	2.5	9	0.9

●「ウォーキング」が68.4%と最も高く、次いで「体操」(36.1%)、「トレーニング」(21.6%)となっている。



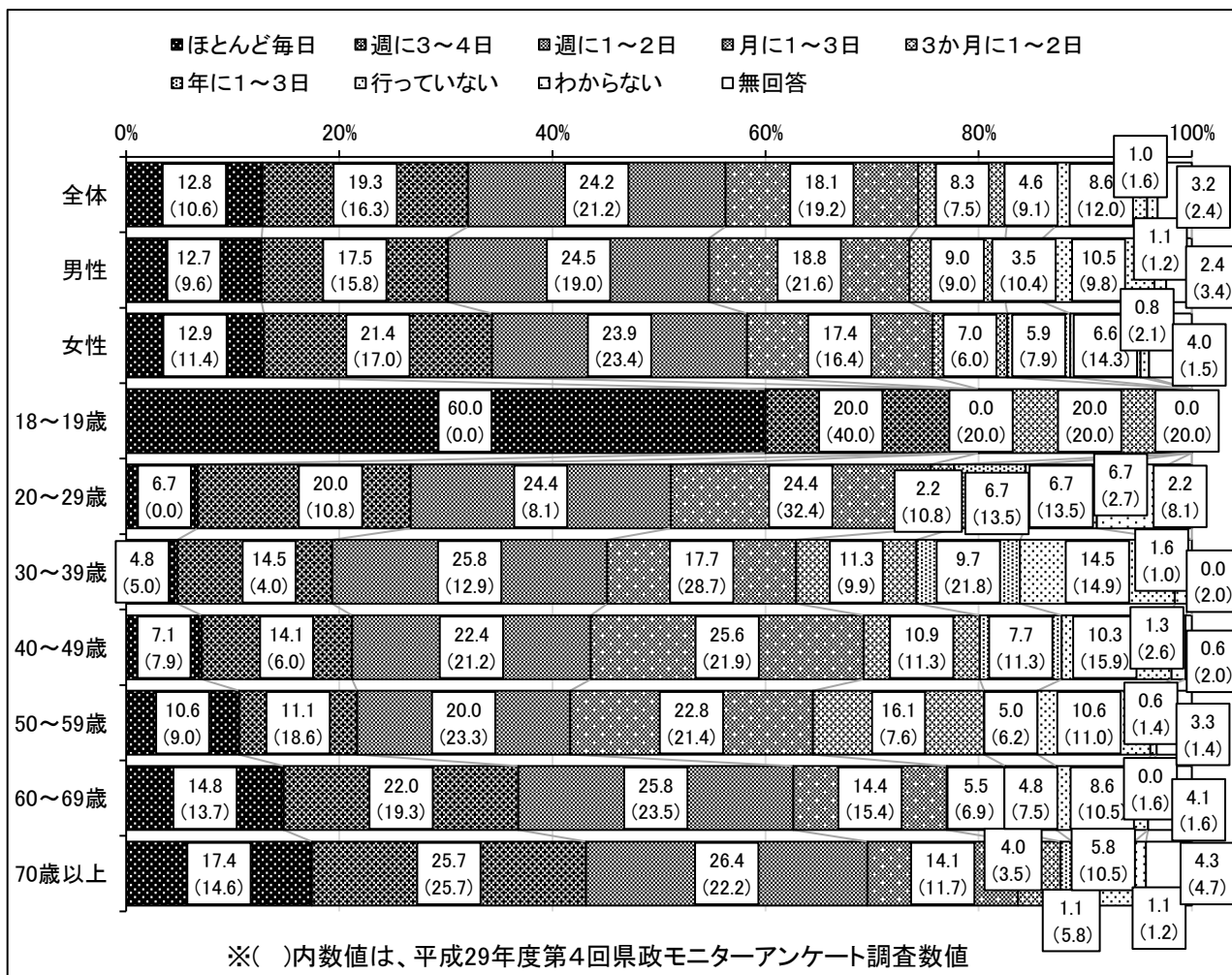
その他としては「サイクリング」、「ヨガ」等の回答が見られた。

＜この1年間に運動・スポーツを行った日数＞  
週1日以上行っている人が6割弱

問20 問19で選択した種目を含め、この1年間に運動スポーツを何日ぐらい行いましたか。(〇は1つ)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
① ほとんど毎日	130	12.8	105	10.6
② 週に3～4日	196	19.3	161	16.3
③ 週に1～2日	246	24.2	209	21.2
④ 月に1～3日	184	18.1	189	19.2
⑤ 3か月に1～2日	84	8.3	74	7.5
⑥ 年に1～3日	47	4.6	90	9.1
⑦ 行っていない	88	8.6	118	12.0
⑧ わからない	10	1.0	16	1.6
無回答	33	3.2	24	2.4

●「ほとんど毎日」(12.8%)「週に3～4日」(19.3%)「週に1～2日」(24.2%)を合わせて56.3%となっている。世代別では10代が80.0%と最も多く、50代が41.7%と最も低い。

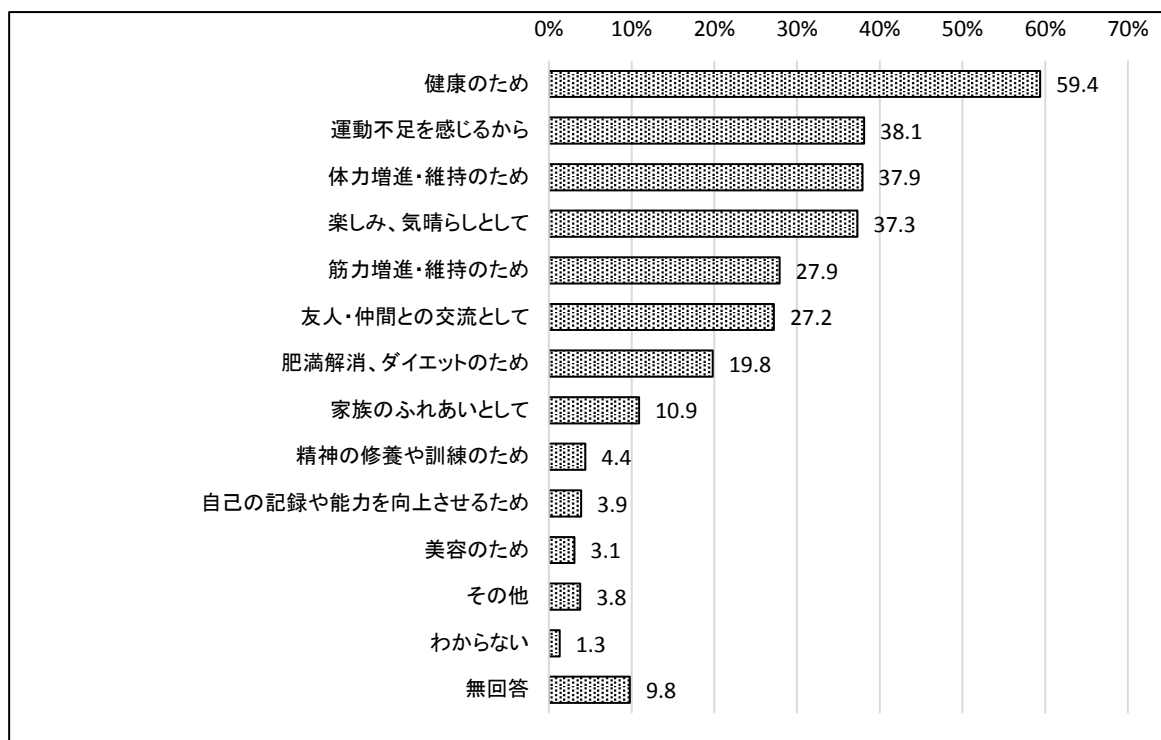


＜この1年間に運動・スポーツを行った理由＞  
 「健康のため」が約6割、「運動不足を感じるから」が約4割

問21 この1年間に、運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。  
 (〇はいくつでも)

	n= 1,018	回答数(人)	割合(%)
健康のため		605	59.4
運動不足を感じるから		388	38.1
体力増進・維持のため		386	37.9
楽しみ、気晴らしとして		380	37.3
筋力増進・維持のため		284	27.9
友人・仲間との交流として		277	27.2
肥満解消、ダイエットのため		202	19.8
家族のふれあいとして		111	10.9
精神の修養や訓練のため		45	4.4
自己の記録や能力を向上させるため		40	3.9
美容のため		32	3.1
その他		39	3.8
わからない		13	1.3
無回答		100	9.8

●「健康のため」が59.4%と最も高く、次いで「運動不足を感じるから」(38.1%)、「体力増進・維持のため」(37.9%)となっている。



その他としては「地域行事のため」、「老化防止のため」等の回答が見られた。

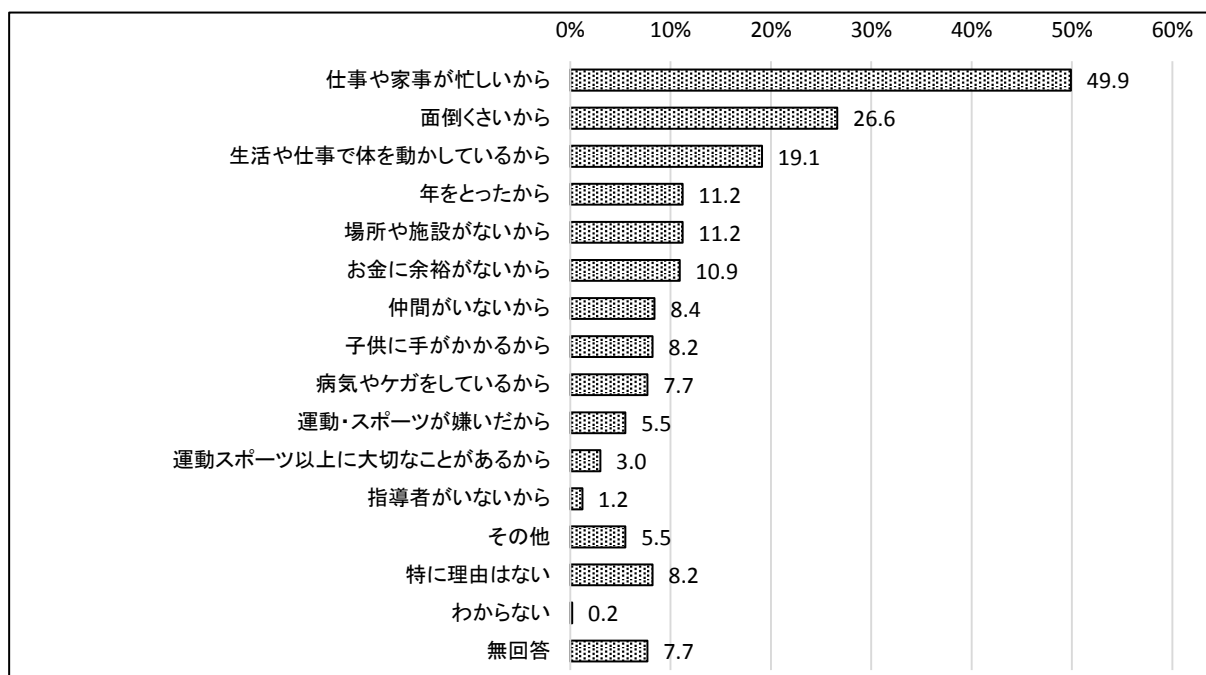


＜この1年間に行った運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由＞  
 「仕事や家事が忙しいから」が約5割、「面倒くさいから」が3割弱

問22 問20で④～⑦を選択した方にお伺いします。週に1日以上(年51日～100日)運動スポーツを実施できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

	n= 403	回答数(人)	割合(%)
仕事や家事が忙しいから		201	49.9
面倒くさいから		107	26.6
生活や仕事で体を動かしているから		77	19.1
年をとったから		45	11.2
場所や施設がないから		45	11.2
お金に余裕がないから		44	10.9
仲間がいないから		34	8.4
子供に手がかかるから		33	8.2
病気やケガをしているから		31	7.7
運動・スポーツが嫌いだから		22	5.5
運動スポーツ以上に大切なことがあるから		12	3.0
指導者がいないから		5	1.2
その他		22	5.5
特に理由はない		33	8.2
わからない		1	0.2
無回答		31	7.7

●「仕事や家事が忙しいから」が49.9%と最も高く、次いで「面倒くさいから」(26.6%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(19.1%)となっている。



その他としては「体力に自信がない」、「寒い時期は外での運動が困難」等の回答が見られた。

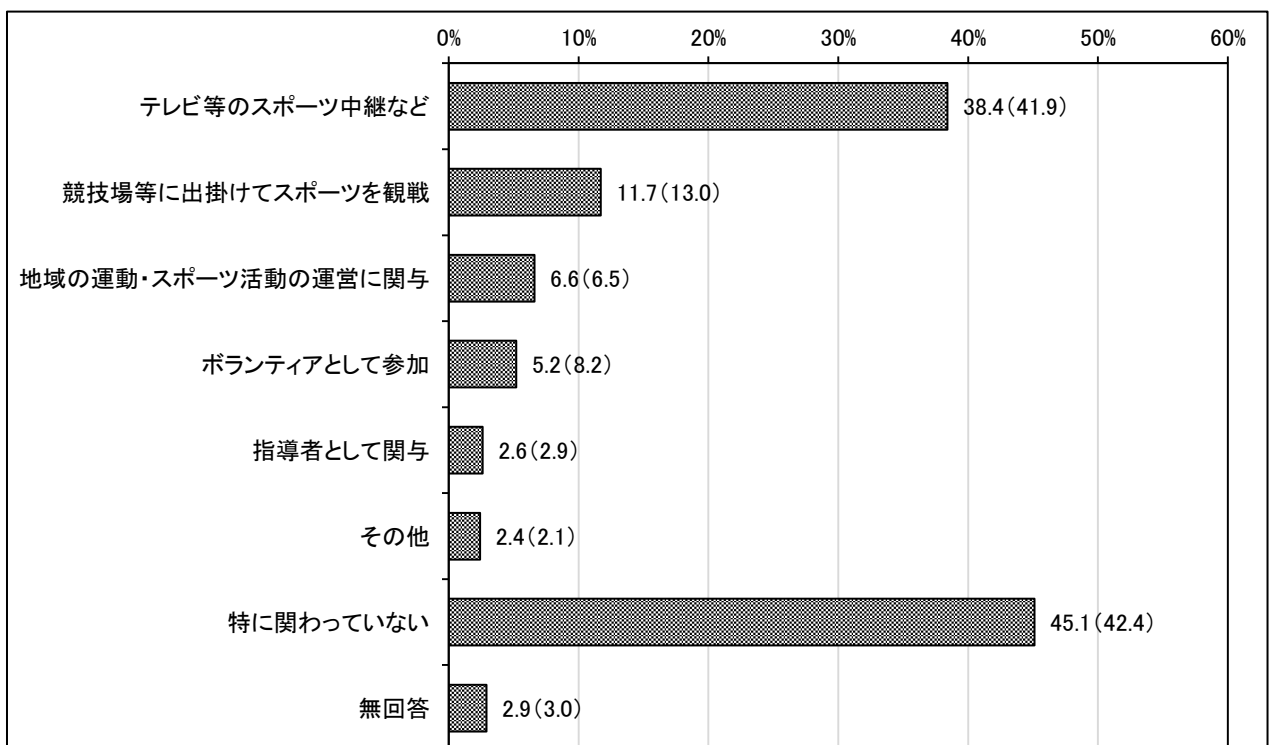
＜運動・スポーツをする以外の関わり方＞

「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が約4割、「競技場等に出掛け、スポーツを観戦する」が約1割

問23 あなたは自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。  
(○はいくつでも)

	H30年度 n=1,018		(参考) H29年度 n=986	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している	391	38.4	413	41.9
競技場等に出掛け、スポーツを観戦する	119	11.7	128	13.0
地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている	67	6.6	64	6.5
各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している	53	5.2	81	8.2
指導者として関わっている	26	2.6	29	2.9
その他	24	2.4	21	2.1
特に関わっていない	459	45.1	418	42.4
無回答	30	2.9	30	3.0

●「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」が38.4%と最も高く、次いで「競技場等に出掛け、スポーツを観戦する」(11.7%)、「地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている」(6.6%)となっている。



※( )内数値は、平成29年度第4回県政モニターアンケート調査数値

その他としては「記録員として関与」、「子どもの部活動に関与」等の回答が見られた。

### Ⅲ 調 査 票

--	--	--	--	--	--	--	--

【お願い】  
アンケート回答の前に県政モニターID  
番号を左の枠内に記入してください。

記載欄（モニターIDが不明な場合のみ記載してください）

県政モニターID番号がご不明の場合  
はお手数ですが本人確認のため、お  
名前、生年月日を右側の記載欄にご  
記入をお願いします。

【記載例】 長野 太郎  
(昭和22年2月22日)

氏 名 ( )

生年月日 ( 年 月 日 )

## 【県歌「信濃の国」について】

長野県の県歌「信濃の国」は、平成30年5月20日に県歌制定50周年を迎えました。  
県では、県の魅力が盛り込まれた「信濃の国」に、今後ますます親しみを持っていただく  
とともに、歌い継いでいただけるような取組を進めてまいります。  
つきましては、県歌「信濃の国」について、以下のとおりお伺いします。

問1 県歌「信濃の国」を歌えますか。(○は1つ)

- ① すべて歌える(1番から6番まで)
- ② 1番は歌える
- ③ 1番は歌えないが、部分的に歌える(歌詞の一部を歌える)
- ④ メロディは知っているが歌えない
- ⑤ メロディも知らないので歌えない

問2 今年度、県歌制定50周年を契機に、「信濃の国」を通して長野県の魅力を再発見したり、  
県民としての誇りを再認識していただくことを目的に、アルウィン(松本市)での  
キックオフイベントの開催や、特設ウェブサイトの開設、写真・動画等の投稿キャン  
ペーンに取り組んできました。

今後、県歌「信濃の国」の魅力をさらに広め、より多くの方々に歌い継いでいただく  
ため、効果的と考えられる取組をすべて選んでください。(○はいくつでも)

- ① 県の広報誌、テレビやラジオの広報番組等で情報を発信する機会を増やす
- ② 県公式ホームページ、特設ウェブサイトで紹介する情報を充実する
- ③ Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)などのSNSで紹介する
- ④ 「信濃の国」について学べる機会を充実する  
(小中学校で歌う・学ぶ、出前講座の開催など)
- ⑤ 「信濃の国」の曲や映像を放送する場を増やす  
(県内観光イベントや、合同庁舎受付窓口等で放送・放映するなど)
- ⑥ その他(具体的に )

### 【参考】

#### ○県歌「信濃の国」

- ・1899年(明治32年)に長野県師範学校教諭の浅井湧が作詞、翌年1900年(明治33年)に同校教諭の北村季晴が作曲。
- ・師範学校の卒業生が県内の学校で生徒に教えたことにより各地に広がり、歳月を経て、親から子へ、子から孫へと歌い継がれてきた。
- ・1966年(昭和41年)に県章やシンボルを決定した際、「信濃の国」を県民意識の高揚のために県歌に制定してはどうかという気運が盛り上がり、1968年(昭和43年)5月20日に「信濃の国」が県歌として制定
- ・2018年(平成30年)に県歌制定50周年を迎えた。

#### ○県公式ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/koho/kensei/gaiyo/shoukai/kenka.html>

#### ○特設ウェブサイト

<https://shinanonokuni.com>



## 【長野県原産地呼称管理制度について】

県では、県産食材等の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。  
つきましては、長野県原産地呼称管理制度の取組や認定品についてお伺いします。

問3 県が実施する「長野県原産地呼称管理制度（※）」をご存知ですか。  
（○は1つ）

※「長野県原産地呼称管理制度」とは、長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度です。

- 認定基準
  - ・長野県産の原料を使い県内で生産され、
  - ・一定の品質基準を満たし、
  - ・官能審査に合格したもの。
- 現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（問5表の5品目）

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

問4 「長野県原産地呼称管理制度」で認定品を示す、この認定マークをご存知ですか。  
（○は1つ）

- ① 知っている
- ② 見たことがある
- ③ 知らない



問5 「長野県原産地呼称管理制度」で認定している、下記の品目をご存知ですか。  
①～⑤それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	知っている	聞いたことがある	知らない
①認定ワイン	1	2	3
②認定日本酒	1	2	3
③認定焼酎	1	2	3
④認定シードル	1	2	3
⑤認定米	1	2	3



## 【長野県森林づくり県民税（森林税）について】

県土の8割を占め、県民共通の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐため、長野県では平成20年度から長野県森林づくり県民税（以下「森林税」）を導入しており、平成30年度からは新たに第3期（課税期間：平成30～34年度）の取組が始まったところです。つきましては、森林税について、以下のとおりお伺いします。

問10 森林税の名称<sup>\*</sup>や使い道についてご存知ですか。（○は1つ）

[1]

※正式名称「長野県森林づくり県民税」、通称「森林税」のいずれでも結構です。

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| ① 名称を知っており、使い道もよく知っている。   | } → 問10[2]・[3]へ |
| ② 名称を知っており、使い道もある程度知っている。 |                 |
| ③ 名称は知っているが、使い道はよくわからない。  | → 問10[2]へ       |
| ④ 名称、使い道ともに知らない。          | → 問11へ          |

問10 問10[1]で①、②または③を選ばれた方にお伺いします。

[2]

森林税の名称、使い道などを、どのようにお知りになりましたか。これまでに森林税について見たり聞いたりしたことがある項目を全て、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| ① 広報ながのけん       | ⑦ テレビ(ニュース・番組)        |
| ② 新聞記事          | ⑧ ラジオ・有線放送            |
| ③ 市町村の広報紙       | ⑨ 県のホームページ・ブログ        |
| ④ 地域情報誌、フリーペーパー | ⑩ SNS(フェイスブック・ツイッター等) |
| ⑤ リーフレット        | ⑪ 人伝え(口コミ)            |
| ⑥ 納税通知書         | ⑫ 森林税で整備した森林や施設のPR看板等 |
| ⑬ その他(具体的に )    |                       |

問10 問10[1]で①または②を選ばれた方にお伺いします。

[3]

森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。（○はいくつでも）

< 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 >

- ① 防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐
- ② 河川の周辺に繁茂する森林の整備
- ③ 地域住民等による里山に関わる地域活動全般<sup>\*</sup>への支援  
※森林体験活動、薪の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等

< 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 >

- ④ 「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進
- ⑤ 里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり

< 森林づくりに関わる人材の育成 >

- ⑥ 里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成

< 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 >

- ⑦ 森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備
- ⑧ 市街地で木々に親しめる緑地の整備
- ⑨ 観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備

< 市町村に対する財政調整的視点での支援 >

- ⑩ 市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援

**問11 森林税を活用した取組についてお伺いします。  
森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが特に大切だと思う取組を選んでください。(〇は3つまで)**

- < 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 >
- ① 防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐
  - ② 河川の周辺に繁茂する森林の整備
  - ③ 地域住民等による里山に関わる地域活動全般<sup>※</sup>への支援  
※森林体験活動、薪の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等
- < 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 >
- ④ 「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進
  - ⑤ 里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり
- < 森林づくりに関わる人材の育成 >
- ⑥ 里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成
- < 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 >
- ⑦ 森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備
  - ⑧ 市街地で木々に親しめる緑地の整備
  - ⑨ 観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備
- < 市町村に対する財政調整的視点での支援 >
- ⑩ 市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援
- < その他 >
- ⑪ この中に大切な取組はない
  - ⑫ わからない

**問12 森林税やその使い道が、県民の皆様にとってより身近に感じられるものとなるためには、どのような取組が大事だと思いますか。(〇は3つまで)**

- ① インターネットを活用した情報発信の充実 (ホームページ・SNS等)
- ② 紙媒体を活用した情報発信の充実 (広報誌・リーフレット等)
- ③ テレビやラジオ番組での紹介
- ④ 森林税で整備した森林や施設の見学ツアー
- ⑤ 森林・林業に関わる体験型のイベント
- ⑥ 森林づくりについて考え、意見交換する機会(ワークショップ等)
- ⑦ 子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組
- ⑧ 長野県ならではの里山の価値・魅力のPR
- ⑨ その他(具体的に )



## 【文化芸術活動に関する実感について】

文化芸術活動は、人生に彩りを与え「豊かな」ライフスタイルを実現するために重要な役割を果たしています。

県では、文化芸術活動への参加者を増やすため、「長野県文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術施策に取り組んでいるところです。

つきましては、今後の取組の参考とするため、以下のとおりお伺いします。

問13 過去1年間に、文化芸術活動（鑑賞を含む）（※）を行いましたか。

① はい

② いいえ

※「文化芸術活動」とは、あなたが楽しさや感動を感じ、創造力や表現力がはぐくまれたと感じる下記のような活動をいいます。また、この設問での鑑賞にはテレビ、インターネット等による鑑賞は含みません。

問13で「①はい」を選ばれた方にお伺いします。以下のどのような文化芸術活動を行いましたか。自ら創作・参加した文化芸術活動、又は文化芸術作品の鑑賞をしたものについて、あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも、両方でも）

	自ら創作・参加する文化芸術活動	文化芸術作品の鑑賞
① 音楽(クラシック・ロック・ポピュラー・演歌など)		
② 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)		
③ 写真		
④ 演劇(現代劇、ミュージカルなど)		
⑤ 舞踊(バレエ、ダンスなど)		
⑥ 映画・漫画・アニメ		
⑦ 日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)		
⑧ 地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)		
⑨ 演芸(落語、漫才など)		
⑩ 生活文化(書道、華道、茶道など)		
⑪ 文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)		
⑫ 国民娯楽(囲碁、将棋など)		
⑬ その他 (具体的に: )		

問14 あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。(○は1つ)

- ① 満足している
- ② どちらかといえば満足している
- ③ どちらかといえば満足していない
- ④ 満足していない
- ⑤ わからない

問15 あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- ① ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
- ② 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
- ③ 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
- ④ 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
- ⑤ 芸術家や文化団体の活動の支援
- ⑥ 文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用
- ⑦ 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
- ⑧ 特に必要はない
- ⑨ その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )
- ⑩ わからない

## 【健康づくりに関する実感について】

県では、平成30年3月、県民の皆様とともに健康づくりの取組を進めていくための指針となる「第2期信州保健医療総合計画（第3次長野県健康増進計画）」〔計画期間 平成30（2018）～2023年度〕を策定しました。

この計画では、県民の皆様とともに健康づくり県民運動「信州ACE（エース）プロジェクト（※）」を推進し、めざす到達点として統計指標とともに統計では把握できない県民の皆様の実感についても指標としております。

こうした県民の皆様の実感を把握したいため、以下のとおりお伺いします。

※「信州ACE(エース)プロジェクト」とは、長野県が展開する健康づくり県民運動の名称です。脳卒中をはじめとした生活習慣病の予防に効果のある、「体を動かす:Action」「健診を受ける:Check」「健康に食べる:Eat」などに取り組み、世界一の健康長寿を目指します。

問16 ご自身の健康状態をどのように感じていますか。（〇は1つ）

- ① よい                      ② まあよい                      ③ あまりよくない                      ④ よくない

問17 現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。①～⑤のそれぞれについてお答えください。（〇は1つずつ）

	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
① 運動(体を動かす)に関すること (スポーツ、ウォーキング、ラジオ体操、よく歩く、こまめに動くなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
② 食生活に関すること (食べすぎ防止、減塩・うす味、野菜摂取など)	1 —————	2 —————	3 —————	4
③ 生活リズムに関すること (睡眠時間、早寝・早起きなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
④ 飲酒に関すること (過剰飲酒防止、休肝日など)	1 —————	2 —————	3 —————	4
⑤ 健康診断受診に関すること (特定健診、職場健診、がん検診、人間ドックなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
⑥ その他(具体的に )				

問17の①～⑤の項目の内、1項目でも3または4に〇をした方は、その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

- ① 健康上や障がいの理由のため                      ⑤ 仲間がいない
- ② 時間がない・忙しい                      ⑥ お金がかかる
- ③ 場所がない                      ⑦ そのような気持ちがない
- ④ 面倒くさい                      ⑧ その他(具体的に )

問18 ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

- ① 健康に配慮した(適正エネルギー量、適塩、野菜摂取等)メニューを提供する飲食店の充実
- ② 健康に配慮した(適正エネルギー量、適塩、野菜摂取等) 弁当や総菜等を販売する店舗の充実
- ③ 塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実
- ④ ウォーキングコースや歩道の整備
- ⑤ スポーツジム、プール等運動施設の充実
- ⑥ 施設(事業所・飲食店等)における分煙・禁煙の徹底
- ⑦ 新聞やテレビ等メディア(自治体の広報誌等も含む)からの健康づくりに関する情報(バランスの良い食事や運動の効果的な取組、ウォーキングイベントやコースの情報等)の充実
- ⑧ インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報(バランスの良い食事や運動の効果的な取組、ウォーキングイベントやコースの情報等)の充実
- ⑨ 健康づくりに関するイベントの開催(ウォーキングやマラソン大会、食育イベント等)
- ⑩ 職場における健康づくりに関する取組の充実  
(スポーツ大会、ウォーキングイベント、健康講話、健康づくりへの助成)
- ⑪ その他(具体的に )

## 【運動・スポーツに関する実感について】

県では、平成30年3月、スポーツ振興のための具体的施策を定めた「第2次スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画では、統計指標とともに統計では把握しきれない県民の皆様の実感についても指標にしており、基本目標の1つに、「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と定着化を設定しています。

こうした県民の皆様の実感を把握したいため、以下のとおりお伺いします。

問19 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツを選択してください。  
ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。  
(○は5つまで)

- ① ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)
- ② ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
- ③ トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)
- ④ 体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)
- ⑤ 器械体操、新体操、トランポリン
- ⑥ ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)
- ⑦ 水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)
- ⑧ 野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む)
- ⑨ ゴルフ(コース・練習場)
- ⑩ ゲートボール・グランドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナックゴルフなど
- ⑪ 球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、ドッジボールなど)
- ⑫ サッカー・フットサル
- ⑬ ボウリング
- ⑭ レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラなど)
- ⑮ 柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング
- ⑯ 登山・トレッキング(クライミング含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル
- ⑰ マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)
- ⑱ ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)
- ⑲ 弓道、アーチェリー、射撃、クレール射撃
- ⑳ その他( )
- ㉑ この1年間に運動スポーツはしなかった

問20 問19で選択した種目を含め、この1年間に運動スポーツを何日ぐらい行いましたか。(〇は1つ)

- |          |            |
|----------|------------|
| ① ほとんど毎日 | ⑤ 3カ月に1～2日 |
| ② 週に3～4日 | ⑥ 年に1～3日   |
| ③ 週1～2日  | ⑦ 行っていない   |
| ④ 月に1～3日 | ⑧ わからない    |

問21 この1年間に、運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| ① 健康のため            | ⑧ 家族のふれあいとして    |
| ② 体力増進・維持のため       | ⑨ 友人・仲間との交流として  |
| ③ 筋力増進・維持のため       | ⑩ 美容のため         |
| ④ 楽しみ、気晴らしとして      | ⑪ 肥満解消、ダイエットのため |
| ⑤ 運動不足を感じるから       | ⑫ その他( )        |
| ⑥ 精神の修養や訓練のため      | ⑬ わからない         |
| ⑦ 自己の記録や能力を向上させるため |                 |

問22 問20で④～⑦を選択した方にお伺いします。週に1日以上(年51日～100日)運動スポーツを実施できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| ① 仕事や家事が忙しいから  | ⑨ 運動・スポーツが嫌いだから       |
| ② 子供に手がかかるから   | ⑩ 面倒くさいから             |
| ③ 病気やケガをしているから | ⑪ 運動スポーツ以上に大切なことがあるから |
| ④ 年をとったから      | ⑫ 生活や仕事で体を動かしているから    |
| ⑤ 場所や施設がないから   | ⑬ その他( )              |
| ⑥ 仲間がいないから     | ⑭ 特に理由はない             |
| ⑦ 指導者がいないから    | ⑮ わからない               |
| ⑧ お金に余裕がないから   |                       |

問23 自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。(〇はいくつでも)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| ① 指導者として関わっている                       |
| ② 地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている             |
| ③ 各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している |
| ④ 競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している              |
| ⑤ テレビ等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している     |
| ⑥ その他( )                             |
| ⑦ 特に関わっていない                          |

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。